



## **Cisco 3350 モビリティ サービス エンジン スタートアップ ガイド**

最終更新日: 2009 年 7 月

### **Americas Headquarters**

Cisco Systems, Inc.  
170 West Tasman Drive  
San Jose, CA 95134-1706  
USA  
<http://www.cisco.com>  
Tel: 408 526-4000  
800 553-NETS (6387)  
Fax: 408 527-0883

**【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

FCC クラス A 準拠装置に関する記述: この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 準拠装置に関する記述: このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコの指示する設置手順に従って設置されなかった場合、ラジオ、テレビによる受信障害が発生することがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコの書面による許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A またはクラス B のデジタル装置に対する FCC 要件に準拠しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザ側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します。(装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカーまたはヒューズで制御されるようにします)。

シスコでは、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



# 第 1 章

## 概要

---

### このマニュアルについて

このマニュアルでは、Cisco 3350 Mobility Services Engine を物理的に設置する方法と電源投入の方法の詳細な手順を説明します。

自動インストール スクリプトの実行に関する詳細と、そのインストール スクリプトに必要な情報についても記載されています。

設置と電源投入の完了後は、Cisco 3350 の追加情報について次の資料を参照してください。

- ソフトウェア設定の詳細については、『*Cisco Context Aware Software Configuration Guide*』を参照してください。
- 機能のサポートと互換性情報の詳細については、Cisco 3350 Mobility Services Engine の最新のリリース ノートを参照してください。

これらのマニュアルは Cisco.com から入手できます。これらのドキュメントにアクセスする手順は、次のとおりです。

- 
- ステップ 1** <http://www.cisco.com> を表示します。
  - ステップ 2** [Support] をクリックします。新しいウィンドウが表示されます。
  - ステップ 3** 製品別の [View Information] で [Wireless] をクリックします。[Select Your Product] または [Technology] ページが表示されます。
  - ステップ 4** [Search for a Specific Product] フィールドに **Cisco 3350** と入力し、[Go] をクリックします。Cisco 3350 の [Introduction] ページが表示されます。
  - ステップ 5** 表示またはダウンロードするマニュアルに対応するリンクを選択します。
-

# 一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報

## 表記法

誤って行うと危険が生じる可能性のある操作については、安全上の警告が記載されています。各警告文に、警告を表す記号が記されています。特定の警告は、それらの警告が適用される項に記載されています。



**警告**

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。警告の各国語版は、各注意事項の番号を基に、装置に付属の「Translated Safety Warnings」を参照してください。ステートメント 1071 これらの注意事項を保管しておいてください。



**注意**

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## 警告

次の警告は、一般的な警告で、マニュアル全体に適用されます。特定の警告は、それらの警告が適用される項に記載されています。



**警告**

バッテリーが適正に交換されなかった場合、爆発の危険があります。交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元が指示する方法に従って処分してください。ステートメント 1015



**警告**

この装置は、アースさせる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024



**警告**

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



**警告**

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040

## 規制準拠と安全性に関する情報



(注) Cisco 3350 Mobility Services Engine の安全性に関する翻訳版の情報については、『付録 A』を参照してください。



(注) Cisco 3350 Mobility Services Engine の規制に関する情報については、『付録 B』を参照してください。





## 第 2 章

# 設置および初期設定

---

この章では、最初に Cisco 3350 Mobility Services Engine を設置および設定する方法について説明します。

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- 「必要なツールと情報」 (P.2-2)
- 「Cisco 3350 の物理的な場所の選択」 (P.2-3)
- 「Mobility Services Engine の開梱」 (P.2-6)
- 「ラックへの Cisco 3350 の取り付け」 (P.2-7)
- 「前面パネルと背面パネル」 (P.2-10)
- 「CLI コンソールの接続と使用」 (P.2-18)
- 「Mobility Services Engine の電源投入」 (P.2-18)
- 「Mobility Services Engine の設定」 (P.2-19)
- 「NTP サーバの設定」 (P.2-27)
- 「Mobility Services Engine の起動」 (P.2-27)
- 「Mobility Services Engine ソフトウェアの状態の確認」 (P.2-27)
- 「Mobility Services Engine ソフトウェアの手動停止」 (P.2-29)
- 「Mobility Services Engine ソフトウェアの更新」 (P.2-29)
- 「失われたルート パスワードの回復」 (P.2-32)



(注)

初期設置以降の設定の詳細については、次の URL にある適切なモビリティ サービス コンフィギュレーション ガイドを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/tsd_products_support_series_home.html)

---

## 必要なツールと情報

この項では、Mobility Services Engine の設置と設定に必要な必須のハードウェア、ソフトウェア、およびその他の情報を示します。

### 必要なハードウェア

EIA ラックに Mobility Services Engine を設置するには次の装置が必要です。

- Mobility Services Engine
- ネットワーク ケーブル
- 標準の EIA ラック内の 1 ラック ユニット (RU)
- ラック マウント キット (製品に同梱)



(注) この装置をネジ穴ラックに設置する場合は、ネジ穴ラックに合ったネジと、それらのネジに適したドライバまたはトルクスドライバを使用する必要があります。

### CLI コンソールの要件

Mobility Services Engine コンソールに接続するには、次の装置が必要です。

- CLI コンソール ラップトップ、デスクトップ、またはパームトップ上の VT-100 ターミナルエミュレータ



(注) ラップトップ、デスクトップ、またはパームトップへの接続を提供するヌル モデム シリアル ケーブルは、Mobility Services Engine に付属しています。



(注) Mobility Services Engine、シスコ WCS、およびコントローラのリリース間の互換性については、次の URL で入手できる *Cisco 3300 Mobility Services Engine* の最新のリリース ノートを参照してください。 [http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/prod_release_notes_list.html)

### システム設定パラメータ

次のパラメータをネットワーク管理者から取得します。

- Mobility Services Engine のホスト名
- イーサネット 0 (eth0) ポート (Mobility Services Engine の背面パネル) の IP アドレス
- eth0 IP アドレスのネット マスク
- eth0 デフォルト ゲートウェイの IP アドレス
- イーサネット 1 (eth1) ポート (Mobility Services Engine の背面パネル) の IP アドレス (インストール オプション)
- eth1 IP アドレスのネット マスク (eth1 がインストールされている場合のみ必須)
- eth1 デフォルト ゲートウェイの IP アドレス (eth1 がインストールされている場合のみ必須)



(注)

イーサネット 0 またはイーサネット 1 ポートは、いずれもロケーション更新のシスコ WCS への送信に使用できます。ただし、イーサネット 0 ポートは、一般的に Cisco WCS と通信するように設定され、イーサネット 1 ポートは、一般的にアウトオブバンド管理用に使用されます。ポートは両方とも、「[Mobility Services Engine の設定](#)」(P.2-19)に記載されているインストールスクリプトの一部として設定されます。

## Cisco 3350 の物理的な場所の選択

最大限の安全性と確実性を確保するため、次のガイドラインに従って Mobility Services Engine を取り付けてください。

### 一般的な注意事項

怪我や Mobility Services Engine の破損を防止するため、次の点に注意してください。

- 製品は、ラジエータ、ヒートレジスタ、ストーブ、アンプ、またはその他の熱を発生する製品から離れた場所に配置してください。
- 湿気の多い場所では、製品を使用しないでください。
- 製品の開口部から異物を入れないでください。
- 感電による怪我を防止するため、製品のラックを開けないでください。

### レーザー デバイス

レーザー デバイスは、Mobility Services Engine の DVD 内で使用されます。お客様のサイトでの DVD の使用法は定義されていません。

危険な放射線の被爆リスクを軽減するために、次に従ってください。

- レーザー デバイスのラックを開けようとししないでください。ユーザが保守できるコンポーネントは収納されていません。
- レーザー デバイスに対して、ここに指定されている以外の制御、調整、および手順を行わないでください。
- レーザー デバイスを修理できるのは、シスコ認定のサービス技術者だけです。

### スペースおよびエアフロー要件

EIA 標準ラックに Mobility Services Engine を設置します。Mobility Services Engine ごとに 1 ラックユニットが必要です。

Mobility Services Engine およびすべてのケーブルに手が届くことを確認します。

- Mobility Services Engine が 10/100/1000BASE-T ポートに接続された機器に対して 328 フィート (100 m) 相当の距離以内であることを確認します。
- 電源コードが、アースされている 110 または 220 VAC のコンセントに届くことを確認します。

Mobility Services Engine の後ろ側にすべてのケーブルおよびコネクタが収まる十分なスペースがあることを確認します。

- ラックの前側に 63.5 cm (25 インチ) 以上の空間を確保します。
- ラックの後ろ側に 76.2 cm (30 インチ) 以上の空間を確保します。
- ラックの背面から、別のラックまたはラックの列の背面まで、121.9 cm (48 インチ) 以上の空間を確保します。



**注意**

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気口を塞がないでください。



**注意**

ラック内の縦の空きスペースを埋めるため、必ずブランク パネルを使用します。これにより、適切なエアフローを確保できます。ブランク パネルなしでラックを使用すると、冷却が不十分になり、温熱損傷を引き起こすおそれがあります。



**注意**

使用するラックを選択するときは、十分なエアフローを確保し、装置の損傷を防ぐため、次の要件に従ってください。(1) 前面扉および背面扉：42U ラックの前面および背面に閉扉がある場合は、十分なエアフロー（通気に必要な 64 % の開放域に相当）を可能にするために 5,350 sq.cm (830 平方インチ) の穴を上部から下部まで均等に配置する必要があります。(2) 側面：設置したラック コンポーネントとラックのサイド パネルの間は、7 cm (2.75 インチ) 以上空けてください。

## 温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを設置または配置してください。

装置をラックに設置した場合の温度上昇を考慮に入れて、動作温度が 0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F) であることを確認してください。



**注意**

他社製オプションを設置する場合は、装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。(1) オプションの装置によって、Mobility Services Engine のエアフローを妨げたり、ラック内部の温度が最大値を超えたりしないようにしてください。(2) メーカーの TMRA を超えないようにしてください。

## 電力要件

この装置は、情報テクノロジー装置の設置について規定した、ご使用の地域の電気規格に従って資格のある電気技師が設置する必要があります。この装置は、NFPA 70、1999 Edition (National Electric Code)、および NFPA 75、1992 (Code for Protection of Electronic Computer/Data Processing Equipment) で規定されているシステム構成で動作するように設計されています。オプションの電気定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザ マニュアルを参照してください。

**注意**

Mobility Services Engine を不安定な電源および一時的な停電から保護するために、規定の無停電電源装置 (UPS) を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

複数の Mobility Services Engine を設置すると、すべてのデバイスに安全に電力を供給するために追加の配電デバイス (PDU) が必要になる場合があります。次のガイドラインに従ってください。

- 使用可能な AC 電源の分岐回路間で、Mobility Services Engine の電力負荷のバランスを取る必要があります。
- システムの AC 電流全体の負荷が、分岐回路 AC 定格電流の 80 % を超えないように注意してください。
- この装置に共通の電源出力ストリップを使用しないでください。
- Mobility Services Engine 用の独立した電気回路を用意してください。

## Mobility Services Engine の電源装置

Mobility Services Engine には電源装置が 2 台搭載されています。

**警告**

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028

**注意**

Mobility Services Engine に接続された外部電源が、電気定格ラベルに示されている電源のタイプと一致することを確認します。必要な電源の種類が不明な場合は、シスコ認定リセラーまたは現地の電力会社にお問い合わせください。

## バッテリー

Mobility Services Engine には、過塩素酸塩が含まれているリアルタイムクロックバッテリーまたはコインセルバッテリーが搭載されている可能性があり、カリフォルニア州でリサイクルまたは廃棄処分にするときは特別な取り扱いが必要になる場合があります。

廃棄処分の情報については、次のリンクを参照してください。

<http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate>

**注意**

バッテリーを一般の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。バッテリーのリサイクルには、公共の回収システムを使用してください。

## アース要件

Mobility Services Engine は、正常な動作と安全を確保するため、適切にアースする必要があります。米国では、NFPA 70、1999 Edition (National Electric Code)、Article 250 のほか、地域の建築基準法に従って装置を設置する必要があります。カナダでは、カナダ規格協会の CSA

C22.1、Canadian Electrical Code に従って装置を設置する必要があります。その他のすべての国では、国際電気標準会議 (IEC) Code 364、Part 1 ~ 7 など、地域または国内の電気配線規制に従って装置を設置する必要があります。

さらに、設置に使用する分岐配線やコンセントなどのすべての配電デバイスが、記載された、または認証されたアースタイプ デバイスであることを確認してください。同一電源に複数のシステムを接続すると、高い漏れ電流が発生するため、シスコでは、建物の分岐回路に恒久的に配線されている PDU、または工業用プラグに配線される切り離し不可能なコードが装着された PDU を使用することを推奨しています。NEMA ロック式プラグや、IEC 60309 に準拠したプラグは、この目的に適合していると見なされます。Mobility Services Engine に共通の電源出力カストリップの使用は推奨されません。

## ラックに関する警告



**警告**

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次のガイドラインは、安全に作業を行ってもらうために用意してあります。(1) ユニットは、ラックに1つだけの場合は、一番下に搭載するようにしてください。(2) ラックに複数のユニットを設置する場合は、最も重いユニットを一番下に設置して、下から順番に取り付けます。(3) ラックにスタビライザが付いている場合は、まずスタビライザを取り付けてから、ユニットの設置や保守を行ってください。ステートメント 1006



**注意**

ラックを荷降ろしするときは、怪我や装置の破損を防止するため、2人以上で安全にパレットからラックを降ろす必要があります。



**注意**

破損防止のため、水分や過度の湿気が Mobility Services Engine に入り込まないようにしてください。

## Mobility Services Engine の開梱

Mobility Services Engine を開梱するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** 梱包箱を開いて、中味を慎重に取り出します。
- ステップ 2** 梱包資材をすべて箱に戻して保管しておきます。
- ステップ 3** 「**パッケージの内容**」の項に記載されているすべての品目が揃っていることを確認します。
- ステップ 4** 各品目に破損がないことを確認します。内容物が破損または不足している場合は、シスコの営業担当者にご連絡ください。

## パッケージの内容

各 Mobility Services Engine パッケージには次のアイテムが含まれています。

- 1 台の Cisco 3350 Mobility Services Engine
- 1 台のラック マウント キット
- 電源コード
- コンソール接続用の DB9-RJ45 ケーブル
- RJ45-DB9 アダプタ
- 本書 (『Cisco 3350 Mobility Services Engine スタートアップガイド』)

## ラックへの Cisco 3350 の取り付け



**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。  
ステートメント 1030



**注意**

この Mobility Services Engine は非常に重量があります (17 kg、37 ポンド)。

怪我や装置の破損を防止するため、次の点に注意してください。

- 資材の取り扱いについては、地域の職業安全衛生要件およびガイドラインに従ってください。
- 設置や取り外しの際に Mobility Services Engine を持ち上げ、安定させるために手助けを受けることが推奨されます (特にシステムがレールに固定されていないとき)。
- Mobility Services Engine のラックへの設置やラックからの取り外しは、慎重に行ってください。レールに固定されていないと、装置は不安定になります。
- 必ず、最も重い品目がラックの一番下になるように、ラックの設置を計画してください。最も重い品目を最初に設置して、下から順番に取り付けていきます。



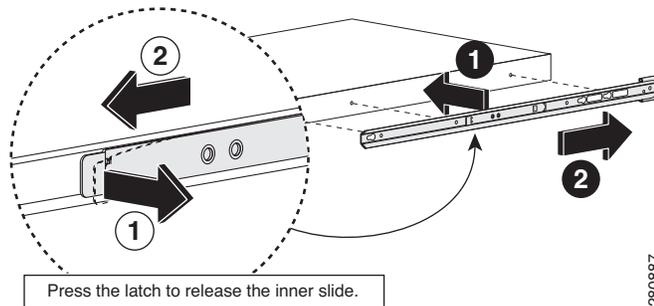
**(注)**

- Mobility Services Engine には、四角穴ラック、丸穴ラック、またはネジ穴ラックに取り付けることのできる、ユニバーサル ラック マウント キットが付属しています。
- 取り付けレールをラックに固定するためのネジ穴用のネジを用意する必要があります。ネジ穴用のネジは、システムに付属していません。

## ネジ穴、四角穴または丸穴のラックへのレールキットの取り付け

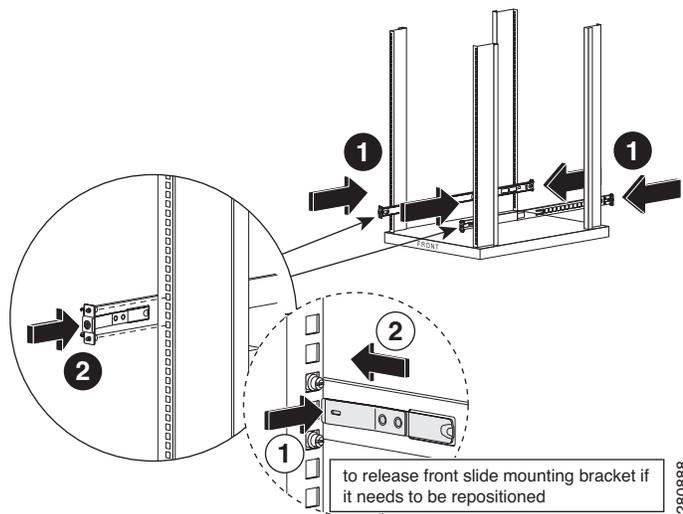
- ステップ 1** 取り付けレールのインナー スライドを解放し、Mobility Services Engine の側面に取り付けます (図 2-1)。図内の番号は、作業の順番を示しています。

図 2-1 Mobility Services Engine にインナー スライド レールを取り付ける



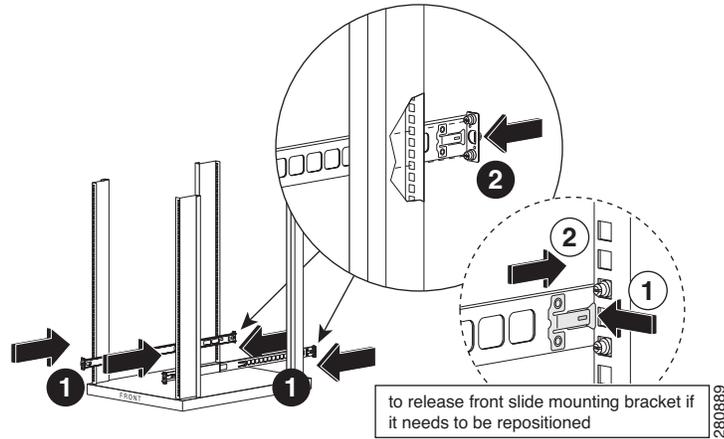
- ステップ 2** Mobility Services Engine が設置されるラック構造の前面にアウター レールを取り付けます (図 2-2)。図内の番号は、作業の順番を示しています。

図 2-2 ラックの前面にアウター レールを取り付ける



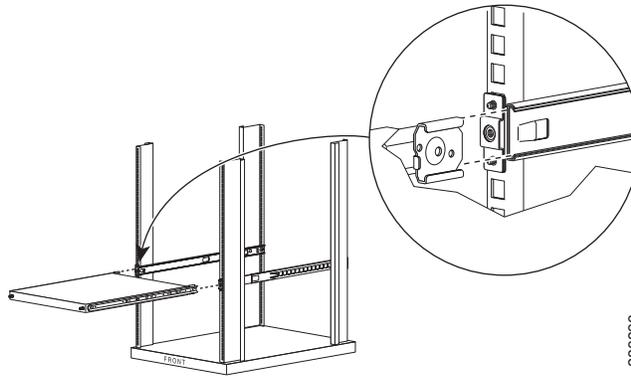
- ステップ 3** Mobility Services Engine がインストールされるラック構造の前面にアウター レールを取り付けます (図 2-3)。図内の番号は、作業の順番を示しています。

図 2-3 ラックの背面にアウター レールを取り付ける



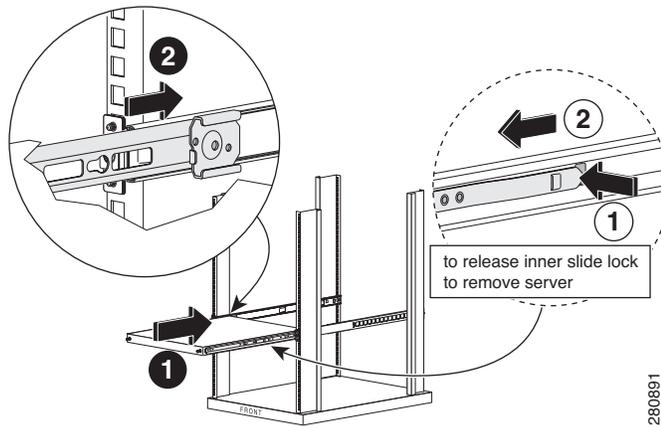
- ステップ 4** ラックに取り付けられているアウター レールに Mobility Services Engine を搭載したインナー スライド レールを取り付けます (図 2-4)。

図 2-4 アウター レールにインナー レールを取り付ける



**ステップ 5** 取り付けしたインナー レールと Mobility Services Engine をラックの背面にスライドします (図 2-5)。図内の番号は、作業の順番を示しています。

図 2-5 システムおよびインナー レールをラックの背面にスライドさせる



## 前面パネルと背面パネル

### 前面パネル

図 2-6 に、Cisco 3350 Mobility Services Engine の前面パネルの全体を示します。

図 2-7 には、Cisco 3350 の前面パネルの詳細を示します。

表 2-1 に、Cisco 3350 の前面パネルのコンポーネントと機能の説明を示します。

図 2-6 Cisco 3350 の前面パネル

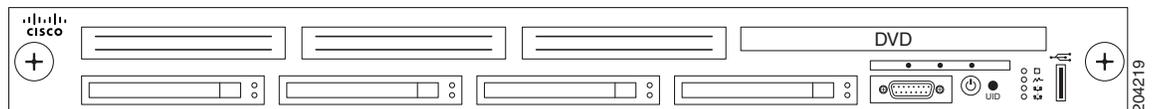


図 2-7 Cisco 3350 の前面パネルのクローズ アップ

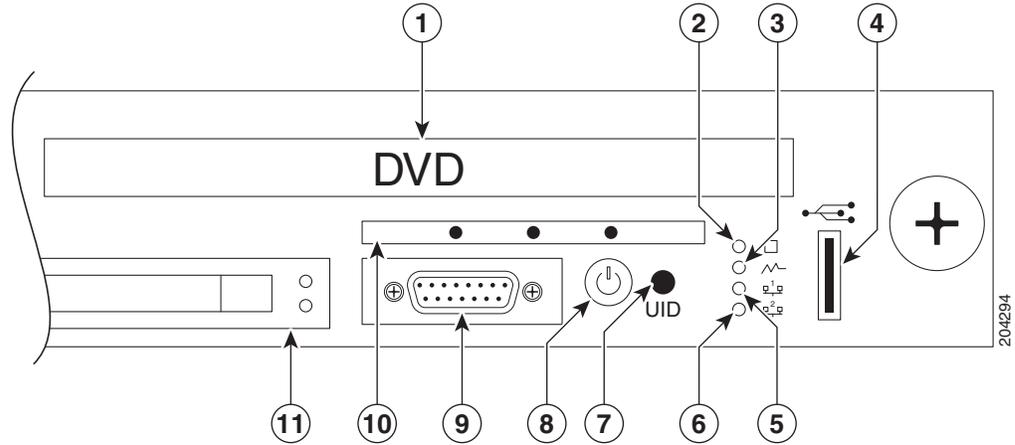


表 2-1 前面パネルのコンポーネント

番号	コンポーネント	説明または LED ステータス
1	DVD ドライブ	カスタマーの使用はありません。すべてのシステム ソフトウェアは Cisco WCS を使用してダウンロードされます。
2	システム LED	<p>グリーンはシステム状態が正常であることを意味します。</p> <p>オレンジは、システム状態が低下していることを意味します。特定のシステム情報については、前面パネルから診断カードを引き出します。「<a href="#">診断カード</a>」(P.2-13) を参照してください。</p> <p>レッドは、システム状態がクリティカルであることを意味します。クリティカル状態のコンポーネントを識別するには、前面パネルから診断カードを引き出します。「<a href="#">診断カード</a>」(P.2-13) を参照してください。</p> <p>消灯は、システム状態が正常であることを意味します (スタンバイ モードの場合)。</p>
3	電源モジュール LED	<p>グリーンは電源の配置が正常であることを意味します。</p> <p>オレンジは、電源の冗長性に障害が発生したことを示します。</p> <p>消灯は、スタンバイ モードの場合に、電源装置が正常なことを示します。</p>
4	USB スロット	将来的な使用のために予約されています。

表 2-1 前面パネルのコンポーネント (続き)

番号	コンポーネント	説明または LED ステータス
5	NIC 1 リンク/アクティビティ LED	グリーンはネットワーク リンクがあることを意味します。 <b>(注)</b> NIC1 は自動インストール スクリプトでイーサネット 0 として識別されます。
		グリーンの点滅は、ネットワーク リンクおよびアクティビティがあることを意味します。
		消灯は、ネットワークへのリンクがないことを意味します。 <b>(注)</b> 電源がオフの場合、前面パネルの LED はアクティブではありません。背面パネルの NIC1 LED を確認します。「背面パネル」(P.2-15) を参照してください。
6	NIC 2 リンク/アクティビティ LED	グリーンはネットワーク リンクがあることを意味します。 <b>(注)</b> NIC2 は自動インストール スクリプトでイーサネット 1 として識別されます。
		グリーンの点滅は、ネットワーク リンクおよびアクティビティがあることを意味します。
		消灯は、ネットワークへのリンクがないことを意味します。 <b>(注)</b> 電源がオフの場合、前面パネルの LED はアクティブではありません。背面パネルの NIC2 LED を確認します。「背面パネル」(P.2-15) を参照してください。
7	UID	ブルーは、識別がアクティブになっていることを意味します。
		ブルーの点滅は、システムがリモートで管理されていることを意味します。
		消灯は、識別が非アクティブであることを意味します。
8	電源オン/スタンバイ ボタンおよびシステム電源 LED	グリーンはシステムの電源が入っていることを意味します。
		オレンジは、システムはシャットダウンしているが電源は入ったままになっていることを意味します。
		消灯は、電源コードが接続されていない、電源障害が発生した、電源装置が設置されていない、設備の電源が利用できない、または電源ボタンケーブルが接続されていない状態です。
9	ビデオ コネクタ (DB-15)	シリアル接続することをお勧めします。このポートに装置を接続しないでください。

表 2-1 前面パネルのコンポーネント (続き)

番号	コンポーネント	説明または LED ステータス
10	診断カード	電源、内部プロセッサ、DIMM、メモリ、温度、およびアラームに関するステータスを提供します。詳細については、「診断カード」(P.2-13)を参照してください。
11	ハードドライブ ベイ (4 の 1)	ハードドライブは、故障した場合や、シスコのテクニカルサポートからの取り外しの指示がない限り、取り外さないでください。

## 診断カード

図 2-8 には、前面パネルにある診断カードの細部を示します。

表 2-2 には、診断カードによって追跡されている Mobility Services Engine の内部コンポーネントの概要を示します。これらのコンポーネントについて、LED 状態の各定義も集約されます。



(注) この情報は、現在 Cisco WCS 内で集約されていません。

図 2-8 診断カード

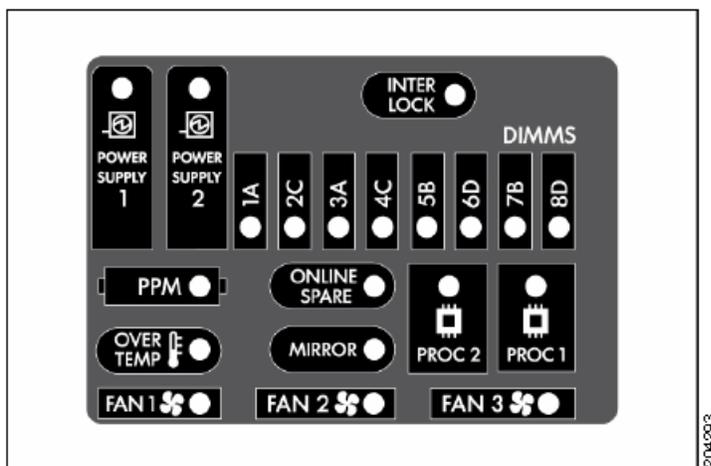


表 2-2 診断カードの LED

コンポーネント	LED ステータス
電源 1 または 2 LED はオレンジまたはレッドになります。	<p>レッドは次の状態の 1 つ以上がある可能性であることを意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ソケット X のプロセッサが失敗している。</li> <li>• プロセッサ X は必須だが、ソケットに取り付けられていない。</li> <li>• プロセッサ X がサポートされていない。</li> </ul> <p>オレンジは、ソケット X のプロセッサがすでに障害状態であることを意味します。</p>
電源 1 および 2 の LED がレッドになっている。	<p>レッドはプロセッサ タイプが一致しないことを意味します。</p>
連結	<p>レッドは PCI ライザー ボードのアセンブリが適切に装着していないことを意味します。</p>
DIMM、1 スロット	<p>レッドは次の状態の 1 つ以上がある可能性であることを意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スロット X の FBDIMM が失敗している。</li> <li>• スロット X の FBDIMM はサポートされていないタイプであり、別のバンクに有効なメモリがない。</li> </ul> <p>オレンジは、次の 1 つ以上の条件が存在する場合があることを意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スロット X の FBDIMM が単一ビットの修正可能なエラーのしきい値に到達した。</li> <li>• スロット X の FBDIMM がすでに障害状態である。</li> <li>• スロット X の FBDIMM はサポートされていないタイプであるが、別のバンクに有効なメモリがある。</li> </ul>
DIMM、すべてのスロット	<p>レッドは有効なメモリまたは使用可能なメモリがシステムに取り付けられていないことを意味します。</p>
PPM	<p>レッドは統合プロセッサの電源モジュール (PPM) が破損していることを意味します。</p>
オンラインのスペア	<p>グリーンは、保護がイネーブルであることを示します。</p> <p>オレンジの点滅は、メモリの設定エラーを意味します。</p> <p>オレンジはメモリ障害が発生したことを示します。</p> <p>消灯は、保護がないことを意味します。</p>

表 2-2 診断カードの LED (続き)

コンポーネント	LED ステータス
Proc 1 または Proc 2 はオレンジまたはレッドになります	<p>レッドは次の状態の 1 つ以上がある可能性があることを意味します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロセッサが破損している。</li> <li>• プロセッサは必須だが、ソケットに取り付けられていない。</li> <li>• プロセッサがサポートされていない。</li> </ul> <p>オレンジは、ソケット X のプロセッサがすでに障害状態であることを意味します。</p>
Proc 1 および Proc 2 はオレンジまたはレッドになります	プロセッサ タイプが一致していない。
温度超過	<p>オレンジは、ヘルスドライバがそのアラートの温度レベルを検出したことを示します。</p> <p>レッドはシステムが臨界温度レベルを検出したことを示します。</p>
ミラー	<p>グリーンは保護がメモリでイネーブルであることを示します。</p> <p>オレンジの点滅はメモリの設定エラーがあることを示します。</p> <p>オレンジはメモリ障害が発生したことを示します。</p> <p>消灯は保護が設定されていないことを意味します。</p>
ファン 1、2、または 3	<p>オレンジは冗長ファンが故障していることを意味します。</p> <p>レッドは最小ファン要件がファン モジュールの 1 つ以上で満たされていないことを意味します。1 つ以上のファンが故障しているか見つかりません。</p>

## 背面パネル

図 2-9 に、Cisco 3350 Mobility Services Engine の背面パネルの細部を示します。

表 2-3 で、Cisco 3350 の背面パネルのコンポーネントと機能を識別します。

表 2-4 には、DB9 ケーブルのピン割り当ての概要を示します。



(注) 図 2-9 でラベルのない項目は、現在システムのアクティブな役割は割り当てられていません。

図 2-9 Cisco 3350 Mobility Services Engine の背面パネル

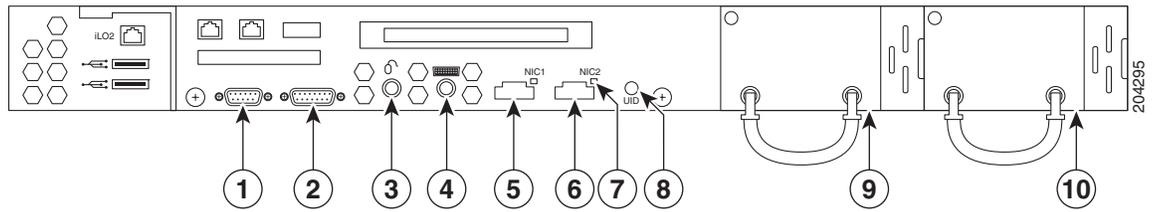


表 2-3 背面パネルのコンポーネント

番号	説明
1	コンソールの DB9 シリアル コネクタ。表 2-4 のピン割り当てを参照してください。
2	DB15 コネクタ。
3	マウス コネクタ。
4	キーボード コネクタ。
5	NIC 1 (Ethernet 0) コネクタと LED。 <ul style="list-style-type: none"> <li>LED がグリーンの場合、リンクがあることを示します。</li> <li>LED が消灯の (点灯していない) 場合、リンクがないことを示します。</li> </ul>
6	NIC 2 (Ethernet 1) コネクタと LED。 <ul style="list-style-type: none"> <li>LED がグリーンの場合、リンクがあることを示します。</li> <li>LED が消灯の (点灯していない) 場合、リンクがないことを示します。</li> </ul>
7	NIC 2 リンク ステータス LED (NIC 1 の LED と同じ機能)
8	UID ボタンと LED。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ブルーは、識別がアクティブになっていることを意味します。</li> <li>ブルーの点滅は、システムがリモートで管理されていることを意味します。</li> <li>消灯の (点灯していない) 場合、識別が非アクティブであることを意味します。</li> </ul>

表 2-3 背面パネルのコンポーネント (続き)

番号	説明
9	<p>電源 2。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンは通常の動作を示します。</li> <li>消灯は、システムが消灯しているか、または電源装置が故障していることを示します。</li> </ul> <p> <b>警告</b> この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028</p>
10	<p>電源 1。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンは通常の動作を示します。</li> <li>消灯は、システムが消灯しているか、または電源装置が故障していることを示します。</li> </ul> <p> <b>警告</b> この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028</p>

表 2-4 DB9 のピン割り当て

ピン	割り当て	説明
1	DCD	データ キャリア検出
2	RD	受信データ
3	TD	送信データ
4	DTR	データ端末レディ
5	SG	信号用接地
6	DSR	データ セット レディ
7	RTS	送信要求
8	CTS	送信可
9	Ring	リング インジケータ

## CLI コンソールの接続と使用

初期のシステム設定では、コマンドライン インターフェイス (CLI) コンソールを使用します。CLI コンソールは、Mobility Services Engine の背面パネルにある DB9 コンソール ポートに接続します。図 2-9 に、Mobility Services Engine の背面パネルにあるコンソール ポートを示します。背面パネルのコンポーネントについては、表 2-3 で説明しています。コンソール ポートのピン割り当てを 表 2-4 に示します。



(注)

コンソール ポートを接続するには、クロスオーバー シリアル ケーブルまたはヌル モデム ケーブルを使用します。

CLI コンソール セッションに対して、これらのターミナル エミュレータ設定を使用します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- フロー制御なし
- 1 ストップ ビット
- パリティなし

## Mobility Services Engine の電源投入

Mobility Services Engine に AC 電源を適用すると、起動スクリプトによってオペレーティング システムと保存済みの設定が初期化されます。ユーザ ID とパスワードの入力と、キー設定の詳細の入力を要求するプロンプトが表示されます。

Mobility Services Engine に電源を投入するには、次の手順に従います。

- 
- ステップ 1** AC 電源コードを Mobility Services Engine の電源の背面 (図 2-9) に差し込み、もう一方の端をアース付きの 100~240 VAC 50/60 Hz 電源コンセントに接続します。
- Mobility Services Engine に差し込む側の電源コードは、IEC 320 標準に準拠しています。
- ステップ 2** 前面パネルの電源オン/スタンバイ ボタンを使用して、Mobility Services Engine の電源を入れます (図 2-7)。
- ステップ 3** ログイン プロンプトで、Mobility Services Engine のユーザ ID とパスワードを入力します。デフォルトのユーザ ID は *root*、デフォルトのパスワードは *password* です。
- ユーザ ID とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- これで、Mobility Services Engine のオペレーティング システムにログインできます。
- [「Mobility Services Engine の設定」\(P.2-19\)](#) に進みます。
-

# Mobility Services Engine の設定

Mobility Services Engine の最小限の設定は、コンソールを使用したインストールの一環として実行されます。自動インストールを使用した初期設定以外のすべての設定は、Cisco WCS で実行されます。自動インストールの詳細については、「[自動インストール スクリプト](#)」(P.2-19)を参照してください。



(注) 最適なネットワーク セキュリティを確保するために、Mobility Services Engine の初期設定時にデフォルトの root パスワードを変更する必要があります。

- 自動セットアップ スクリプト中にパスワードを変更するように要求されます。
- Linux コマンド `passwd` を使用してパスワードを変更することもできます。

## 自動インストール スクリプト



(注) ネットワーク内で Mobility Services Engine が最適に動作するように、すべての関連項目を初期セットアップ時に設定することを推奨します。ホスト名と、イーサネット 0 (eth0) またはイーサネット 1 (eth1) のポートは、自動インストール中に必ず設定する必要があります。



(注) 自動インストール スクリプトは、パラメータを追加または変更するためにいつでも再実行できます。これらの更新のいずれかで変更しない値を再入力する要件はありません。



(注) ある項目を設定しない場合は、**skip** を入力すると次の設定手順のプロンプトが表示されます。スキップされた設定は保持され、変更されません。

自動インストール スクリプトは、説明文とともに次のように画面に表示されます。

Example text: Indicates the installation script that displays to the console.

本文: スクリプト内の手順についてユーザに追加情報を提供します。

ログイン `root` を入力します。

```
localhost.localdomain login:
```

パスワード `password` を入力します。

```
Password:
```

```
Setup parameters via Setup Wizard (yes/no) [yes]:
```

セットアップ ウィザードを使用する場合は **yes** と入力し、手動でパラメータを設定する場合は **No** と入力します。経験豊かな Linux システム管理者だけが、セットアップ スクリプトを使用してシステムを設定することを選択できます。角カッコ内のオプションは、デフォルトです。デフォルトを選択するには、**Enter** キーを押します。

**Yes** と入力すると、コンソールに次の情報が表示されます。

```
Welcome to the mobility services engine setup.
Please enter the requested information. At any prompt,
enter ^ to go back to the previous prompt. You may exit at
any time by typing <Ctrl+C>.
```

```
You will be prompted to choose whether you wish to configure a
parameter, skip it, or reset it to its initial default value.
Skipping a parameter will leave it unchanged from its current
含まれています。
Changes made will only be applied to the system once all the
information is entered and verified.
```

```
Current hostname=[localhost]
Configure hostname? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: Y
```

ホスト名は、ネットワーク上のデバイスを識別できる一意の名前にしてください。ホスト名は、文字で開始し、文字または数字で終了し、文字、数字、およびダッシュだけを含みます。

```
Enter a host name [localhost]: mse-nyc
```

このデバイスが属するネットワークドメインのドメイン名を入力します。ドメイン名は、文字で開始し、`.com` などの有効なドメイン名の拡張子で終了します。ドメイン名には、文字、数字、ダッシュ、ピリオドを使用できます。

```
Current domain=[localdomain]
Configure domain name? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: Y
```

```
Enter a domain name [localdomain]: cisco.com
```

```
Current IP address=[209.165.201.25]
Current eth0 netmask=[255.255.255.224]
Current gateway address=[209.165.201.1]
Enter eth0 IP address [209.165.201.25]:
Configure eth0 interface parameters? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]: Y
```

Ethernet-0 (eth0) インターフェイスの情報を入力する場合は、**Yes** と入力します。



**(注)** ネットワーク管理者は、後続のプロンプトに IP アドレス、ネットワーク マスク、およびデフォルト ゲートウェイアドレスを指定できます。

```
Enter an IP address for the first ethernet interface of this machine.
```

```
Enter eth0 IP address [209.165.201.25]:
Enter the network mask for IP address 209.165.201.25.
Enter network mask [255.255.255.224]:
```

```
Enter a default gateway address for this machine.
Note that the default gateway must be reachable from the first ethernet interface
```

```
Enter default gateway address [209.165.201.1]:
```

```
The second ethernet interface is currently disabled for this machine.
Configure eth1 interface parameters? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]:
```

2 番目のイーサネット (eth1) インターフェイスの情報を入力する場合は、**Yes** と入力します。



(注) 2 番目のイーサネット インターフェイス (eth1) は、**skip** と入力してスキップすることもできます。

このマシンの 2 番目のイーサネット インターフェイス (eth1) の IP アドレスを入力します。  
Enter eth1 IP address [none]:

指定した IP アドレスのネットワーク マスクを入力します。

Enter network mask [255.0.0.0]:



(注) このマシンの 2 番目のイーサネット インターフェイス (eth1) の IP アドレスおよびマスクを入力した場合は、このイーサネット インターフェイスのスタティック ルーティング エントリを 2 つまで定義することもできます。スタティック ルートは通常、アウトオブバンド ネットワークを模倣するためにラボ環境で使用されるもので、幅広い使用経験がない場合は、ネットワーク内の実装には推奨されません。



(注) スタティック ルートを設定しない場合は、次に示すネットワーク アドレスのプロンプトで **none** と入力します。ネットワーク マスクとゲートウェイ アドレスを入力する必要はありません。



(注) 1 つのルートだけを設定する場合は、2 番目のネットワーク アドレスを入力するよう求められたら **none** と入力できます。2 番目のルートのネットワーク マスク、ゲートウェイ アドレスを入力する必要はありません。

eth1 のスタティック ルートを定義するネットワーク アドレスを入力します。

Enter network [none]:

上記で入力したネットワーク アドレスのネットワーク マスクを入力します。

Enter network mask [255.0.0.0]:

入力したネットワーク アドレスおよびネットワーク マスクのゲートウェイ アドレスを入力します。

Enter gateway address:

DNS 情報を入力します。

```
Domain Name Service (DNS) Setup
DNS is currently enabled.
No DNS servers currently defined
Configure DNS related parameters?(Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]:Y
```

```
Enable DNS (yes/no) [yes]: Yes
Enter primary DNS server IP address: 209.165.201.20
Enter backup DNS server IP address (or none) [none]:
```

タイムゾーン情報を入力します。



**(注)** Mobility Services Engine、Cisco WCS とコントローラ間の通信は Universal Time Code (UTC) 内にあります。Mobility Services Engine にはローカル タイムゾーンが設定されています。これにより、ネットワーク オペレーション センターの担当者によるログ内のイベントの検索をサポートします。各システムで NTP を設定すると、デバイスに UTC 時刻が提供されます。

```
Current timezone=[America/Los_Angeles]
Configure timezone?(Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]:
```

NTP サーバ情報を入力します。



**(注)** Mobility Services Engine とその関連コントローラは、同一 NTP サーバと同一 シスコ WCS サーバにマップする必要があります。NTP サーバは、コントローラ、Cisco WCS、および Mobility Services Engine 間で時刻を自動的に同期する必要があります。

```
Network Time Protocol (NTP) Setup.
If you choose to enable NTP, the system time will be configured from NTP servers that you
select.Otherwise, you will be prompted to enter the current date and time.
```

```
NTP is currently disabled.
Configure NTP related parameters?(Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]: Y
```

```
Enter whether or not you would like to set up the Network Time Protocol (NTP) for this
machine.
```

```
If you choose to enable NTP, the system time will be configured from NTP servers that you
select.Otherwise, you will be prompted to enter the current date and time.
```

```
Enable NTP (yes/no) [no]: yes
Enter NTP server name or address: 1.ntp.esl.cisco.com
Enter another NTP server IP address (or none) [none]:
```

ユーザがコンソールまたは SSH 経由でログインした場合は、ログイン バナーが表示されます。次に、デフォルトのバナーの例を示します。次の手順に従って、このバナーに表示されるテキストを変更できます。バナーは通常、ユーザがプライベート システムを開始していることを警告するために使用されます。

```
Current Login Banner = [Warning!]
Configure login banner (Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]:
```

```
Enter text to be displayed as login banner.Enter a single period on a line to terminate.
```

```
Login banner [Warning!]:
```

```
Cisco Mobility Service Engine.
```

```
Remote root login is currently disabled.
```

コンソールからリモート ルート ログイン (アクセス) を設定しイネーブルにするには、次の手順に Y を入力します。



**(注)** リモート ルート アクセスをイネーブルにした場合、シリアルおよび SSH 接続がサポートされます。ローカル モニタとキーボード アクセスは拒否されます。



(注) リモート ルート アクセスをディセーブルにすると、ローカル モニタとキーボードの両方がシリアル接続と共に動作します。SSH アクセスはディセーブルになります。

```
Configure remote root access?(Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]: N
```

```
Enter whether or not you would like to allow
remote root login via secure shell for this machine.
```

```
Enable remote root login (yes/no) [no]: N
```

```
SSH root access is currently enabled.
```

```
Configure ssh access for root (Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]: N
```

```
Enter whether or not you would like to enable ssh
root login.If you disable this option, only console
root login will be possible.
```

コンソール ログインと SSH v2 (ssh root ログイン) を使用してリモート ログインができるようになるには、**yes** と入力します。コンソールからの *root* ログインだけを許可するには、**[no]** を選択します。

```
Enable ssh root access (yes/no): yes
```



(注) *ssh root* ログインパスワードを忘れた場合、単一ユーザモードを開始し、パスワードを変更できます。不正アクセスを防止するには、単一ユーザモードのパスワードを定義できます。

```
Single user mode password check is currently enabled.
```

```
Configure single user mode password check (Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]: Y
```

```
The single user mode is usually used for recovery
operations.For example, when the root password is
forgotten, you can log into single user mode and reset
the root password.
```

```
*****
```

```
!!WARNING!!
```

```
-----
```

```
If single user mode password check is enabled and
the root password is forgotten, the appliance
will be unusable as it cannot be logged into
successfully.Do not enable this option unless it
is required.(Press ^ to go back to previous step.)
```

```
*****
```



注意

単一ユーザモードのパスワードを忘れた場合はログインできず、RMA を準備するために TAC に連絡する必要があります。

```
Enable password check for single user mode login (yes/no) [yes]: yes
```

パスワード パラメータの目的の値を入力するか、デフォルトのパラメータ値を受け入れるように **Enter** キーを押します。



(注) これらのパラメータは、設置スクリプト時にイネーブルにし、設定するすべてのパスワードに適用されます。

```

Login and password strength related parameter setup
Maximum number of days a password may be used : 60
Minimum number of days allowed between password changes : 1
Minimum acceptable password length : 9
Login delay after failed login : 5
Checking for strong passwords is currently enabled.

```

```
Configure login/password related parameters?(Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]: Y
```

Enter login and password related parameters.

```

Maximum number of days a password may be used(1-99999, 99999 means no expiry) [60]:
Minimum number of days a password may be used(0-99999, 0 means no minimum) [1]:
Minimum acceptable password length(8-10) [9]:
Login delay in seconds after failed login(0-15) [5]
Enable strong password checking?[yes/no] [yes]:

```

ルート（スーパー ユーザ）パスワードをイネーブルにし、定義するには Y と入力します。この手順をスキップするには、Enter キーを押します。

```
Configure root password?(Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]: Y
```

Enter a password for the superuser.

スーパーユーザのパスワードを入力し、再度入力して確認します。入力は表示されません。

```
Enter root password:
Confirm root password:
```

強力な（GRand Unified Bootloader（GRUB））パスワードを設定することもできます。強力なパスワードは9文字以上とし、2個の小文字、2桁の数字および2個の特殊文字（\$や#など）を使用している必要があります。条件を満たしていないパスワードを入力すると、エラーメッセージが表示されます。



注意

GRUB パスワードを忘れた場合は、ログインできません。また、RMA を準備するために TAC に連絡する必要があります。



(注) 強力なパスワードがイネーブルでない場合は、パスワードを任意の長さにすることができます。



(注) 強力なパスワードが設定される前に定義されたパスワードは、強力なパスワードの設定に影響されません。強力なパスワードが設定された後に設定されたパスワードだけが影響を受けます。たとえば、Cisco WCS 通信パスワード（次の例で示す）やパスワードの有効期限など、このスクリプトの後半で設定するパスワードには強力なパスワードが必要になります。

```

GRUB password is not currently configured.
Configure GRUB password (Y)es/(D)isable/(S)kip/(U)se default [Skip]: Y
GRUB is the Linux bootloader.Setting a password for
the GRUB loader means that each time the appliance is
powered up, you will be prompted for the GRUB password
you configure here.
*****
!!WARNING!!
-----
If the GRUB password is forgotten, the appliance

```

```
will be unusable as it cannot be booted up
successfully.Do not configure this option unless it
is required.(Press ^ to go back to previous step.)
*****
```

Enter a password for the grub menu.

```
Enter GRUB Password:
Verify GRUB Password:
```

Password must be 9 characters long. もう一度試行します。

```
Enter GRUB Password:
Verify GRUB Password:
UP = 2, LO = 6, DIGIT = 3, PUNCT = 0
Password must contain 2 uppercase, 2 lowercase letters,
2 digits and 2 special characters. もう一度試行します。
```

```
Enter GRUB Password:
Verify GRUB Password:
```

シスコ WCS 通信パスワードを有効にして定義するには **Y** と入力します。



**(注)** このパスワードは、シスコ WCS GUI にアクセスするための個々のユーザパスワードは定義しません。このパスワードは、システム（Mobility Services Engine など）とシスコ WCS 間の SOAP/XML 認証に使用されます。

```
Configure WCS communication password?(Y)es/(S)kip/(U)se default [Skip]: Y
```

```
Enter a password for the admin user.
The admin user is used by the WCS and other northbound systems
to authenticate their SOAP/XML session with the server.
Once this password is updated, it must correspondingly be updated
on the WCS page for MSE General Parameters so that the WCS can
communicate with the MSE.
```

Cisco WCS 通信のパスワードを入力し、再度入力することによって確認します。入力は表示されません。

```
Enter WCS communication password:
Confirm WCS communication password:
```



**(注)** BIOS への不正なアクセスを防止するために、BIOS パスワードを設定することを推奨します。

インストール スクリプトに入力されたすべての情報が画面に表示されます。

```
Please verify the following setup information.
```

```
-----
Host name= mse-nyc
Domain=cisco.com
Eth0 IP address=209.165.201.25, Eth0 network mask=255.255.255.224
Default gateway=209.165.201.1
Enable DNS=yes, DNS servers=209.165.201.20
Enable NTP=yes, NTP servers=1.ntp.esl.cisco.com
Login banner =
Cisco Mobility Service Engine.
```

```

Enable Remote Root Login=no
Enable SSH root access=yes
Enable Single User Mode Password Check=no
Password/Login parameters :
Password min length=9
Password min days =1
Password max days =60
Failed login delay =5
Strong password checking=yes
Root password is changed.
GRUB password is changed.
WCS password is changed.
-----
You may enter "yes" to proceed with configuration, "no" to make
more changes, or "^" to go back to the previous step.
Is the above information correct (yes, no, or ^): yes
-----
Setup will now attempt to apply the configuration.
Applying hostname related parameters...
Generating /etc/hosts
Running hostname mse-nyc.cisco.com
Generating /etc/sysconfig/network
Updating /proc/sys/kernel/hostname
Applying eth0 related parameters...
Generating /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0
Applying DNS related parameters...
Generating /etc/resolv.conf
Restarting network services with new settings.
Shutting down interface eth0:
Shutting down loopback interface:
Setting network parameters:
Bringing up loopback interface:
Bringing up interface eth0:
Applying NTP related parameters...
Generating /etc/ntp.conf and /etc/ntp/step-tickers
Setting system clock from NTP.
11 Apr 15:56:59 ntpdate[15176]: step time server 209.165.201.22 offset -37.556823 sec
Synchronizing hardware clock
Generating /etc/sysconfig/clock
Applying remote root login related parameters...
Disabling single user mode login password check...

Setting password/login parameters....
Setting root password.
Changing password for user root.
passwd: all authentication tokens updated successfully.
Setting grub password...
Setting wcs password.
***Configuration successful***
We recommend you reboot the system to ensure changes are operational.
Reboot now?(yes/no) [yes]: yes
Some of your changes will only take effect after the next reboot.
Exiting setup script...
[root@sanity-lbs setup]#
Script done on Wed 30 Sept 2008 03:58:12 PM PDT

```

スクリプトの設定が画面に表示されたら、入力したすべてのセットアップ情報を確認するように求められます。**Yes**を入力して設定を進めるか、**No**を入力してさらに変更するか、または<sup>^</sup>を入力して前の手順に戻ることができます。

Is the above information correct (yes, no, or ^):

**yes** を入力すると、設定情報が適用されます。変更が適用されたことを確認するプロンプトが表示された場合は、システムをリブートすることをお勧めします。



(注) 設定が完了すると、**\*\*\*Configuration successful\*\*\*** というメッセージが画面に表示されます。

次回のログイン時に **root** を使用すると、Linux シェルプロンプトだけが表示され、セットアップ スクリプトは表示されません。**root** としてログインし、**/opt/mse/setup/setup.sh** を実行すれば、いつでもセットアップ スクリプトを再実行して設定を変更できます。

セットアップ スクリプトは **/opt/mse/setup/setup.log** で参照できるログ ファイルを生成します。

## NTP サーバの設定

NTP サーバを設定して、Mobility Services Engine の時刻と日付を設定できます。



(注) 自動インストール スクリプトの一環として、NTP をイネーブルにし、NTP サーバ IP アドレスを入力するように求めるプロンプトが自動的に表示されます。自動インストール スクリプトの詳細については、「[Mobility Services Engine の設定](#)」(P.2-19) を参照してください。



(注) Mobility Services Engine のインストール後に NTP サーバのインストールを追加または変更する必要がある場合、自動インストール スクリプトを再実行します。スクリプトから移動するだけで、他の値を調整せずに、NTP サーバを設定できます。自動スクリプトを再実行するには、**root** としてログインし、**/opt/mse/setup/setup.sh** を実行します。



(注) NTP 設定の詳細については、Linux の設定ガイドを参照してください。

## Mobility Services Engine の起動

ブート後に Mobility Services Engine を自動的に起動するように設定するには、次の手順を実行します。

```
[root@mse-server1]# chkconfig msed on
```

イメージを手動で開始するには、**/etc/init.d/msed start** を入力します。

## Mobility Services Engine ソフトウェアの状態の確認

Mobility Services Engine ソフトウェアの状態はいつでも確認できます。Mobility Services Engine の CLI インターフェイスでは、**/etc/init.d/msed status** と入力します

Mobility Services Engine が動作している場合、コマンド出力は次の例のようになります。

```

-----
Server Config
-----
Product name: Cisco Mobility Service Engine
Version: x.x.x.x
Hw Version: none
Hw Product Identifier: none
Hw Serial Number: none
Use HTTPS: true
HTTPS Port: 443
Use HTTP: false
HTTP Port: 80
Legacy HTTPS: false
Legacy Port: 8001
Session timeout in mins: 30
DB backup in days: 0

-----
Server Monitor
-----
Start time: Wed Sept 30 15:24:36 EDT 2008
Server current time: Fri May 30 19:08:15 EDT 2008
Server timezone: America/New_York
Server timezone offset: -18000000
-----
Service Engine (1):
-----
NAME: Location Service
VERSION: x.x.x.x
-----
Location Service Monitor
-----
Log Modules: 262143
Log Level: INFO
Days to keep events: 2
Keep absent data in mins: 1440
Restarts: 1
Used Memory (bytes): 129851856
Allocated Memory (bytes): 3087007744
Max Memory (bytes): 3087007744
DB virtual memory (kbytes): 0
DB virtual memory limit (bytes): 256000000
DB disk memory (bytes): 4128768
DB free size (kbytes): 2856
Active Elements: 0
Active Clients: 0
Active Tags: 0
Active Rogues: 0
Active Elements Limit: 18000
Active Sessions: 0
Clients Not Tracked due to the limiting: 0
Tags Not Tracked due to the limiting: 0
Rogues Not Tracked due to the limiting: 0
Total Elements Not Tracked due to the limiting: 0

```

Mobility Services Engine が動作していない場合、コマンド出力は次の例のようになります。

```

com.aes.common.util.AesException: Failed to connect to server: http://localhost:8001
    at com.aes.client.AesClient.connect(AesClient.java:218)
    at com.aes.location.test.AesAbstractTest.init(AesAbstractTest.java:181)
    at
com.aes.location.test.admin.AesTestGetServerInfo.main(AesTestGetServerInfo.java:75)
    at sun.reflect.NativeMethodAccessorImpl.invoke0(Native Method)

```

```
at sun.reflect.NativeMethodAccessorImpl.invoke(Unknown Source)
at sun.reflect.DelegatingMethodAccessorImpl.invoke(Unknown Source)
at java.lang.reflect.Method.invoke(Unknown Source)
at com.zerog.lax.LAX.launch(DashoA8113)
at com.zerog.lax.LAX.main(DashoA8113)

#
```

## Mobility Services Engine ソフトウェアの手動停止

Mobility Services Engine ソフトウェアは、初期設定後と各リブート後に自動的に実行されます。ソフトウェアを手動で停止し、再起動するには、次の手順に従います

- 
- ステップ 1 ソフトウェアを停止するには、`/etc/init.d/msed stop` を入力します。
  - ステップ 2 `/etc/init.d/msed status` と入力してステータスを確認します。
  - ステップ 3 `/etc/init.d/msed start` と入力してソフトウェアを開始します。
- 

## Mobility Services Engine ソフトウェアの更新

Mobility Services Engine の更新は、シスコ WCS を使用するか、または Mobility Services Engine に接続されたコンソールポートを使用して手動でソフトウェアをダウンロードして実行できます。



- (注) 最新のシスコ WCS、Mobility Services Engine の互換性、および特定のリリースのインストレーション ノートについては、次の URL にある適切なリリース ノートを参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/tsd_products_support_series_home.html)

Mobility Services Engine のソフトウェアをダウンロードし、更新を行う前に、次のことに注意してください。

- Mobility Services Engine (サーバ) イメージは圧縮されています。ソフトウェア イメージは、シスコ WCS からのダウンロード中に自動的に解凍されます。
- 新たにロードされた Mobility Services Engine ソフトウェアのバージョンが [Cisco WCS Mobility] > [Mobility Service Engines] ウィンドウ (リリース 5.x) に表示されるには約 5 分が必要です。



- (注) リリース 6.0 では、パスは、[Services] > [Mobility Services] です。



- (注) シスコ WCS は、Mobility Services Engine の接続およびデータベースの更新について、デフォルトで 5 分ごとにクエリーを実行します。

## シスコ WCS の使用によるソフトウェアのダウンロード

シスコ WCS を使用してソフトウェアを Mobility Services Engine にダウンロードするには、次の手順に従います。

**ステップ 1** イメージのダウンロードに使用するシスコ WCS または外部 FTP サーバから、Mobility Services Engine に対して ping を実行できることを確認します。

**ステップ 2** Cisco WCS で、[Mobility] > [Mobility Service Engines] (リリース 5.x) を選択します。



(注) リリース 6.0 では、パスは、[Services] > [Mobility Services] です。

**ステップ 3** ソフトウェアをダウンロードする Mobility Services Engine の名前をクリックします。

**ステップ 4** [Maintenance] を選択します (左側のパネル)。

**ステップ 5** [Download Software] を選択します。

**ステップ 6** ソフトウェアをダウンロードするには、次のいずれかを実行します。

- シスコ WCS のディレクトリにリストされているソフトウェアをダウンロードするには、[Select from uploaded images to transfer into the Server] チェックボックスをオンにします。次に、ドロップダウンメニューからバイナリ イメージを選択します。

シスコ WCS により、ドロップダウンメニューにリストされているバイナリ イメージが、シスコ WCS のインストール時に指定した FTP サーバディレクトリにダウンロードされます。

- ローカルまたはネットワーク経由で使用可能なダウンロード済みソフトウェアを使用するには、[Browse a new software image to transfer into the Server] チェックボックスをオンにし、[Browse] をクリックします。ファイルを見つけ、[Open] をクリックします。

**ステップ 7** ソフトウェア ダウンロードがタイムアウトになるまでの時間 (秒単位、1 ~ 1800) を入力します。



(注) このタイムアウト設定は、Mobility Services Engine へのソフトウェア ダウンロードが期限切れになる前に許容される合計時間を表します。これは、FTP のパケットのタイムアウト設定ではありません。

**ステップ 8** [Download] をクリックし、ソフトウェアを Mobility Services Engine の /opt/installers ディレクトリにダウンロードします。

**ステップ 9** イメージが Mobility Services Engine に転送されたら、Mobility Services Engine の CLI にログインして /opt/installers ディレクトリから *.limage-name* コマンドを入力してインストーラ イメージを実行します。

**ステップ 10** ソフトウェアを実行するには、/etc/init.d/msed start を入力します。

**ステップ 11** ソフトウェアを停止するには、/etc/init.d/msed stop を入力します。ステータスを確認するには /etc/init.d/msed status と入力します。

## ソフトウェアの手動ダウンロード

シスコ WCS を使用して自動的に Mobility Services Engine ソフトウェアを更新しない場合は、ローカル（コンソール）またはリモート（SSH）接続を使用して、次の手順に従ってソフトウェアを手動でアップグレードします。

**ステップ 1** 新しい Mobility Services Engine イメージをハード ドライブに転送します。

- a. `root` としてログインし、バイナリ設定を使用して、外部 FTP サーバの `root` ディレクトリからソフトウェア イメージを送信します。

サンプルのソフトウェア イメージのファイルの名前は `CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x-64bit.bin.gz` で、各リリースで変わります。



(注) この時点では、Mobility Services Engine イメージは圧縮されています。



(注) FTP サーバのデフォルトのログイン名は、`ftp-user` です。

たとえば、次のようなエントリになります。

```
# cd /opt/installers
# ftp <FTP Server IP address>
Name: <login>
Password: <password>
binary
get CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x-64bit.bin.gz
<CTRL-Z>
#
```

- b. イメージ (`CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x-64bit.bin.gz`) が Mobility Services Engine の `/opt/installers` ディレクトリにあることを確認します。
- c. イメージ ファイルを解凍するには、次を入力します。

```
gunzip CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x-64bit.bin.gz
```

圧縮解除すると、`bin` ファイルが生成されます。

- d. `root` ユーザに対して `CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x.bin` ファイルの実行が許可されていることを確認します。そうでない場合は、次を入力します。

```
chmod 755 CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x.bin
```

**ステップ 2** 手動で Mobility Services Engine を停止するには、`root` としてログインし、次を入力します。

```
/etc/init.d/msed stop.
```

**ステップ 3** 新しい Mobility Services Engine のイメージをインストールするには、次を入力します。

```
/opt/installers/CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x.bin
```

**ステップ 4** 新しいモビリティ サービス ソフトウェアを起動するには、次を入力します。

```
/etc/init.d/msed start
```

**注意**

次の手順ではスクリプト ファイルをアンインストールしますが、システムからの指示がない限り実行しないでください。ファイルを削除すると、履歴データが不必要に消去されます。

- ステップ 5** Mobility Services Engine のスクリプト ファイルをアンインストールするには、次を入力します。
- ```
/opt/mse/uninstall
```

## 失われたルートパスワードの回復

Mobility Services Engine の root パスワードを忘れた場合、次の手順を実行します。

- ステップ 1** GRUB 画面が表示されたら、**Esc** を押してブート メニューを開始します。

**注意**

GRUB パスワードを忘れた場合は、ログインできません。また、RMA を準備するために TAC に連絡する必要があります。

**(注)**

キーボード、マウス、モニタはユニットに接続するのではなく、コンソールポートを使って接続する必要があります。

- ステップ 2** e を押して編集します。

- ステップ 3** 「kernel」で始まる行に移動し、**e** を押します。

行の終わりにスペースと数字の 1 を入力します。**Enter** を押してこの変更を保存します。

- ステップ 4** **b** を押してブート シーケンスを開始します。

ブート シーケンスの最後にシェル プロンプトが表示されます。

**(注)**

単一ユーザ モードのパスワードを設定した場合は、シェル プロンプトは表示されません。

- ステップ 5** **passwd** コマンドを入力すると、ルート パスワードを変更できます。

- ステップ 6** 新しいパスワードを入力して確定します。

- ステップ 7** マシンを再起動します。



## 付録 **A**

# 安全上の考慮事項および 翻訳版の安全上の警告

---

この付録では、Cisco 3350 Mobility Services Engine の安全上の注意を示します。  
この付録で説明する安全上の考慮事項と安全についての警告は、次のとおりです。

- 「安全上の考慮事項」(P.A-2)
- 「警告の定義」(P.A-2)
- 「取り付け手順」(P.A-5)
- 「アース線に関する警告」(P.A-7)
- 「ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーンに関する警告」(P.A-10)
- 「装置の設置についての警告」(P.A-19)
- 「バッテリーの取り扱い」(P.A-22)
- 「製品の廃棄処分」(P.A-24)
- 「電源ケーブルおよび AC アダプタ」(P.A-26)

## 安全上の考慮事項

Mobility Services Engine を設置する際は、次のガイドラインに留意してください。

- ラックに設置した場合の温度上昇を考慮に入れて、周囲温度が 0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F) であることを確認してください。
- 複数の Mobility Services Engine を装置ラックに設置する場合は、ラック内のすべての機器が安全に稼働可能な定格電源が使用されていることを確認してください。
- Mobility Services Engine は、完全にアースされていることを確認してから装置ラックに設置してください。

## 警告の定義



Warning

### IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

This warning symbol means danger. You are in a situation that could cause bodily injury. Before you work on any equipment, be aware of the hazards involved with electrical circuitry and be familiar with standard practices for preventing accidents. Use the statement number provided at the end of each warning to locate its translation in the translated safety warnings that accompanied this device. Statement 1071

### SAVE THESE INSTRUCTIONS

Waarschuwing

### BELANGRIJKE VEILIGHEIDSINSTRUCTIES

Dit waarschuwingssymbool betekent gevaar. U verkeert in een situatie die lichamelijk letsel kan veroorzaken. Voordat u aan enige apparatuur gaat werken, dient u zich bewust te zijn van de bij elektrische schakelingen betrokken risico's en dient u op de hoogte te zijn van de standaard praktijken om ongelukken te voorkomen. Gebruik het nummer van de verklaring onderaan de waarschuwing als u een vertaling van de waarschuwing die bij het apparaat wordt geleverd, wilt raadplegen.

### BEWAAR DEZE INSTRUCTIES

Varoitus

### TÄRKEITÄ TURVALLISUUSOHJEITA

Tämä varoitusmerkki merkitsee vaaraa. Tilanne voi aiheuttaa ruumiillisia vammoja. Ennen kuin käsittelet laitteistoa, huomioi sähköpiirien käsittelemiseen liittyvät riskit ja tutustu onnettomuuksien yleisiin ehkäisytapoihin. Turvallisuusvaroitusten käännökset löytyvät laitteen mukana toimitettujen käännettyjen turvallisuusvaroitusten joukosta varoitusten lopussa näkyvien lausuntonumeroiden avulla.

### SÄILYTÄ NÄMÄ OHJEET

**Attention      IMPORTANTES INFORMATIONS DE SÉCURITÉ**

Ce symbole d'avertissement indique un danger. Vous vous trouvez dans une situation pouvant entraîner des blessures ou des dommages corporels. Avant de travailler sur un équipement, soyez conscient des dangers liés aux circuits électriques et familiarisez-vous avec les procédures couramment utilisées pour éviter les accidents. Pour prendre connaissance des traductions des avertissements figurant dans les consignes de sécurité traduites qui accompagnent cet appareil, référez-vous au numéro de l'instruction situé à la fin de chaque avertissement.

**CONSERVEZ CES INFORMATIONS****Warnung      WICHTIGE SICHERHEITSHINWEISE**

Dieses Warnsymbol bedeutet Gefahr. Sie befinden sich in einer Situation, die zu Verletzungen führen kann. Machen Sie sich vor der Arbeit mit Geräten mit den Gefahren elektrischer Schaltungen und den üblichen Verfahren zur Vorbeugung vor Unfällen vertraut. Suchen Sie mit der am Ende jeder Warnung angegebenen Anweisungsnummer nach der jeweiligen Übersetzung in den übersetzten Sicherheitshinweisen, die zusammen mit diesem Gerät ausgeliefert wurden.

**BEWAHREN SIE DIESE HINWEISE GUT AUF.****Avvertenza      IMPORTANTI ISTRUZIONI SULLA SICUREZZA**

Questo simbolo di avvertenza indica un pericolo. La situazione potrebbe causare infortuni alle persone. Prima di intervenire su qualsiasi apparecchiatura, occorre essere al corrente dei pericoli relativi ai circuiti elettrici e conoscere le procedure standard per la prevenzione di incidenti. Utilizzare il numero di istruzione presente alla fine di ciascuna avvertenza per individuare le traduzioni delle avvertenze riportate in questo documento.

**CONSERVARE QUESTE ISTRUZIONI****Advarsel      VIKTIGE SIKKERHETSINSTRUKSJONER**

Dette advarselssymbolet betyr fare. Du er i en situasjon som kan føre til skade på person. Før du begynner å arbeide med noe av utstyret, må du være oppmerksom på farene forbundet med elektriske kretser, og kjenne til standardprosedyrer for å forhindre ulykker. Bruk nummeret i slutten av hver advarsel for å finne oversettelsen i de oversatte sikkerhetsadvarslene som fulgte med denne enheten.

**TA VARE PÅ DISSE INSTRUKSJONENE****Aviso      INSTRUÇÕES IMPORTANTES DE SEGURANÇA**

Este símbolo de aviso significa perigo. Você está em uma situação que poderá ser causadora de lesões corporais. Antes de iniciar a utilização de qualquer equipamento, tenha conhecimento dos perigos envolvidos no manuseio de circuitos elétricos e familiarize-se com as práticas habituais de prevenção de acidentes. Utilize o número da instrução fornecido ao final de cada aviso para localizar sua tradução nos avisos de segurança traduzidos que acompanham este dispositivo.

**GUARDE ESTAS INSTRUÇÕES**

**¡Advertencia! INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD**

Este símbolo de aviso indica peligro. Existe riesgo para su integridad física. Antes de manipular cualquier equipo, considere los riesgos de la corriente eléctrica y familiarícese con los procedimientos estándar de prevención de accidentes. Al final de cada advertencia encontrará el número que le ayudará a encontrar el texto traducido en el apartado de traducciones que acompaña a este dispositivo.

**GUARDE ESTAS INSTRUCCIONES****Varning! VIKTIGA SÄKERHETSANVISNINGAR**

Denna varningssignal signalerar fara. Du befinner dig i en situation som kan leda till personskada. Innan du utför arbete på någon utrustning måste du vara medveten om farorna med elkretsar och känna till vanliga förfaranden för att förebygga olyckor. Använd det nummer som finns i slutet av varje varning för att hitta dess översättning i de översatta säkerhetsvarningar som medföljer denna anordning.

**SPARA DESSA ANVISNINGAR****Figyelem FONTOS BIZTONSÁGI ELOÍRÁSOK**

Ez a figyelmeztető jel veszélyre utal. Sérülésveszélyt rejtő helyzetben van. Mielőtt bármely berendezésen munkát végezte, legyen figyelemmel az elektromos áramkörök okozta kockázatokra, és ismerkedjen meg a szokásos balesetvédelmi eljárásokkal. A kiadványban szereplő figyelmeztetések fordítása a készülékhez mellékelte biztonsági figyelmeztetések között található; a fordítás az egyes figyelmeztetések végén látható szám alapján kereshető meg.

**ORIZZE MEG EZEKET AZ UTASÍTÁSOKAT!****Предупреждение ВАЖНЫЕ ИНСТРУКЦИИ ПО СОБЛЮДЕНИЮ ТЕХНИКИ БЕЗОПАСНОСТИ**

Этот символ предупреждения обозначает опасность. То есть имеет место ситуация, в которой следует опасаться телесных повреждений. Перед эксплуатацией оборудования выясните, каким опасностям может подвергаться пользователь при использовании электрических цепей, и ознакомьтесь с правилами техники безопасности для предотвращения возможных несчастных случаев. Воспользуйтесь номером заявления, приведенным в конце каждого предупреждения, чтобы найти его переведенный вариант в переводе предупреждений по безопасности, прилагаемом к данному устройству.

**СОХРАНИТЕ ЭТИ ИНСТРУКЦИИ**

**警告** 重要的安全性説明

此警告符号代表危险。您正处于可能受到严重伤害的工作环境中。在您使用设备开始工作之前，必须充分意识到触电的危险，并熟练掌握防止事故发生的标准工作程序。请根据每项警告结尾提供的声明号码来找到此设备的安全性警告说明的翻译文本。

请保存这些安全性说明

**警告** 安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。警告の各国語版は、各注意事項の番号を基に、装置に付属の「Translated Safety Warnings」を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

## 取り付け手順

**Warning**

**Read the installation instructions before connecting the system to the power source.** Statement 1004

**Waarschuwing**

**Raadpleeg de installatie-instructies voordat u het systeem op de voedingsbron aansluit.**

**Varoitus**

**Lue asennusohjeet ennen järjestelmän yhdistämistä virtälähteeseen.**

**Attention**

**Avant de brancher le système sur la source d'alimentation, consulter les directives d'installation.**

**Warnung**

**Vor dem Anschließen des Systems an die Stromquelle die Installationsanweisungen lesen.**

**Avvertenza**

**Consultare le istruzioni di installazione prima di collegare il sistema all'alimentatore.**

**Advarsel**

**Les installasjonsinstruksjonene før systemet kobles til strømkilden.**

**Aviso**

**Leia as instruções de instalação antes de ligar o sistema à fonte de energia.**

**¡Advertencia!**

**Lea las instrucciones de instalación antes de conectar el sistema a la red de alimentación.**

**Varning!**

**Läs installationsanvisningarna innan du kopplar systemet till strömförsörjningsenheten.**

**Figyelem**

**Mielőtt áramforráshoz csatlakoztatná a rendszert, olvassa el az üzembe helyezési útmutatót!**

**Предупреждение**

**Перед подключением устройства к источнику электропитания ознакомьтесь с данной инструкцией по установке.**

## ■ 取り付け手順

**警告** 在将系统与电源连接之前，请仔细阅读安装说明。

**警告** 必ず設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

**주의** 시스템을 전원 에 연결하기 전에 설치 지침을 읽으십시오.

**Aviso** Leia as instruções de instalação antes de conectar o sistema à fonte de energia.

**Upozornění** Před připojením systému k elektrické síti si prostudujte pokyny k instalaci.

אזהרה יש לקרוא את הוראות ההתקנה לפני חיבור המערכת למקור המתח.

**Ostrzeżenie** Przed podłączeniem systemu do źródła zasilania należy przeczytać instrukcje dotyczące instalacji.

**Upozornenie** Pred pripojením systému k napájaciemu zdroju si prečítajte inštaláčn é pokyny.

**Opozorilo** Preden sistem priključite, preberite navodila za priključitev.

**警告** 將系統連接供電系統前，請先閱讀安裝指南。

**Figyelem** Mielőtt áramforráshoz csatlakoztatná a rendszert, olvassa el az üzembe helyezési útmutatót!

**Предупреждение** Перед подключением устройства к источнику электропитания ознакомьтесь с данной инструкцией по установке.

**警告** 在将系统与电源连接之前，请仔细阅读安装说明。

**警告** 必ず設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

**주의** 시스템을 전원 에 연결하기 전에 설치 지침을 읽으십시오.

**Aviso** Leia as instruções de instalação antes de conectar o sistema à fonte de energia.

**Upozornění** Před připojením systému k elektrické síti si prostudujte pokyny k instalaci.

אזהרה יש לקרוא את הוראות ההתקנה לפני חיבור המערכת למקור המתח.

|             |                                                                                                   |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ostrzeżenie | Przed podłączeniem systemu do źródła zasilania należy przeczytać instrukcje dotyczące instalacji. |
| Upozornenie | Pred pripojením systému k napájaciemu zdroju si prečítajte inštalčné pokyny.                      |
| Opozorilo   | Preden sistem priključite, preberite navodila za priključitev.                                    |
| 警告          | 將系統連接供電系統前，請先閱讀安裝指南。                                                                              |

## アース線に関する警告



### Warning

This equipment must be grounded. Never defeat the ground conductor or operate the equipment in the absence of a suitably installed ground conductor. Contact the appropriate electrical inspection authority or an electrician if you are uncertain that suitable grounding is available. Statement 1024

### Waarschuwing

Deze apparatuur dient geaard te zijn. De aardingsleiding mag nooit buiten werking worden gesteld en de apparatuur mag nooit bediend worden zonder dat er een op de juiste wijze geïnstalleerde aardingsleiding aanwezig is. Neem contact op met de bevoegde instantie voor elektrische inspecties of met een electricien als u er niet zeker van bent dat er voor passende aarding gezorgd is.

### Varoitus

Laitteiden on oltava maadoitettuja. Älä koskaan ohita maajohdinta tai käytä laitteita ilman oikein asennettua maajohdinta. Ota yhteys sähkötarkastusviranomaiseen tai sähköasentajaan, jos olet epävarma maadoituksen sopivuudesta.

### Attention

Cet équipement doit être mis à la masse. Ne jamais rendre inopérant le conducteur de masse ni utiliser l'équipement sans un conducteur de masse adéquatement installé. En cas de doute sur la mise à la masse appropriée disponible, s'adresser à l'organisme responsable de la sécurité électrique ou à un électricien.

### Warnung

Dieses Gerät muss geerdet sein. Auf keinen Fall den Erdungsleiter unwirksam machen oder das Gerät ohne einen sachgerecht installierten Erdungsleiter verwenden. Wenn Sie sich nicht sicher sind, ob eine sachgerechte Erdung vorhanden ist, wenden Sie sich an die zuständige Inspektionsbehörde oder einen Elektriker.

### Avvertenza

Questa apparecchiatura deve essere dotata di messa a terra. Non escludere mai il conduttore di protezione né usare l'apparecchiatura in assenza di un conduttore di protezione installato in modo corretto. Se non si è certi della disponibilità di un adeguato collegamento di messa a terra, richiedere un controllo elettrico presso le autorità competenti o rivolgersi a un elettricista.

## ■ アース線に関する警告

|                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>Advarsel</b>       | <b>Dette utstyret må jordes. Omgå aldri jordingslederen og bruk aldri utstyret uten riktig montert jordingsleder. Ta kontakt med fagfolk innen elektrisk inspeksjon eller med en elektriker hvis du er usikker på om det finnes velegnet jordning.</b>                                                                                        |
| <b>Aviso</b>          | <b>Este equipamento deve ser aterrado. Nunca anule o fio terra nem opere o equipamento sem um aterramento adequadamente instalado. Em caso de dúvida com relação ao sistema de aterramento disponível, entre em contato com os serviços locais de inspeção elétrica ou um electricista qualificado.</b>                                       |
| <b>¡Advertencia!</b>  | <b>Este equipo debe estar conectado a tierra. No inhabilite el conductor de tierra ni haga funcionar el equipo si no hay un conductor de tierra instalado correctamente. Póngase en contacto con la autoridad correspondiente de inspección eléctrica o con un electricista si no está seguro de que haya una conexión a tierra adecuada.</b> |
| <b>Varning!</b>       | <b>Denna utrustning måste jordas. Koppla aldrig från jordledningen och använd aldrig utrustningen utan en på lämpligt sätt installerad jordledning. Om det föreligger osäkerhet huruvida lämplig jordning finns skall elektrisk besiktningsauktoriteten eller elektriker kontaktas.</b>                                                       |
| <b>Figyelem</b>       | <b>A berendezés csak megfelelő védőföldeléssel működtethető. Ne iktassa ki a földelés csatlakozóját, és ne üzemeltesse a berendezést szabályosan felszerelt földelő vezeték nélkül! Ha nem biztos benne, hogy megfelelő földelés áll rendelkezésbe, forduljon a helyi elektromos hatóságokhoz vagy egy villanyszerelőhöz.</b>                 |
| <b>Предупреждение</b> | Данное устройство должно быть заземлено. Никогда не отключайте провод заземления и не пользуйтесь оборудованием при отсутствии правильно подключенного провода заземления. За сведениями об имеющихся возможностях заземления обратитесь к соответствующим контролирующим организациям по энергоснабжению или к инженеру-электрику.           |
| <b>警告</b>             | 此设备必须接地。切勿使接地导体失效，或者在没有正确安装接地导体的情况下操作该设备。如果您不能肯定接地导体是否正常发挥作用，请咨询有关电路检测方面的权威人士或电工。                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <b>警告</b>             | この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないよう注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合には、電気検査機関または電気技術者に相談してください。                                                                                                                                                                                                                        |

**Figyelem** A berendezés csak megfelelő védőföldeléssel működtethető. Ne iktassa ki a földelés csatlakozóját, és ne üzemeltesse a berendezést szabályosan felszerelt földelő vezeték nélkül! Ha nem biztos benne, hogy megfelelő földelés áll rendelkezésbe, forduljon a helyi elektromos hatóságokhoz vagy egy villanszerelőhöz.

**Предупреждение** Данное устройство должно быть заземлено. Никогда не отключайте провод заземления и не пользуйтесь оборудованием при отсутствии правильно подключенного провода заземления. За сведениями об имеющихся возможностях заземления обратитесь к соответствующим контролирующим организациям по энергоснабжению или к инженеру-электрику.

**警告** 此设备必须接地。切勿使接地导体失效，或者在没有正确安装接地导体的情况下操作该设备。如果您不能肯定接地导体是否正常发挥作用，请咨询有关电路检测方面的权威人士或电工。

**警告** この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないよう注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合には、電気検査機関または電気技術者に相談してください。

---

# ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告



## Warning

To prevent bodily injury when mounting or servicing this unit in a rack, you must take special precautions to ensure that the system remains stable. The following guidelines are provided to ensure your safety: Statement 1006

- This unit should be mounted at the bottom of the rack if it is the only unit in the rack.
- When mounting this unit in a partially filled rack, load the rack from the bottom to the top with the heaviest component at the bottom of the rack.
- If the rack is provided with stabilizing devices, install the stabilizers before mounting or servicing the unit in the rack.

## Waarschuwing

Om lichamelijk letsel te voorkomen wanneer u dit toestel in een rek monteert of het daar een servicebeurt geeft, moet u speciale voorzorgsmaatregelen nemen om ervoor te zorgen dat het toestel stabiel blijft. De onderstaande richtlijnen worden verstrekt om uw veiligheid te verzekeren:

- Dit toestel dient onderaan in het rek gemonteerd te worden als het toestel het enige in het rek is.
- Wanneer u dit toestel in een gedeeltelijk gevuld rek monteert, dient u het rek van onderen naar boven te laden met het zwaarste onderdeel onderaan in het rek.
- Als het rek voorzien is van stabiliseringshulpmiddelen, dient u de stabilisatoren te monteren voordat u het toestel in het rek monteert of het daar een servicebeurt geeft.

## Varoitus

Kun laite asetetaan telineeseen tai huolletaan sen ollessa telineessä, on noudatettava erityisiä varotoimia järjestelmän vakavuuden säilyttämiseksi, jotta vältetään loukkaantumiselta. Noudata seuraavia turvallisuusohjeita:

- Jos telineessä ei ole muita laitteita, aseta laite telineen alaosaan.
- Jos laite asetetaan osaksi täytettyyn telineeseen, aloita kuormittaminen sen alaosasta kaikkein raskaimmalla esineellä ja siirry sitten sen yläosaan.
- Jos telinettä varten on vakaimet, asenna ne ennen laitteen asettamista telineeseen tai sen huoltamista siinä.

## Attention

Pour éviter toute blessure corporelle pendant les opérations de montage ou de réparation de cette unité en casier, il convient de prendre des précautions spéciales afin de maintenir la stabilité du système. Les directives ci-dessous sont destinées à assurer la protection du personnel:

- Si cette unité constitue la seule unité montée en casier, elle doit être placée dans le bas.
- Si cette unité est montée dans un casier partiellement rempli, charger le casier de bas en haut en plaçant l'élément le plus lourd dans le bas.
- Si le casier est équipé de dispositifs stabilisateurs, installer les stabilisateurs avant de monter ou de réparer l'unité en casier.

- Warnung** Zur Vermeidung von Körperverletzung beim Anbringen oder Warten dieser Einheit in einem Gestell müssen Sie besondere Vorkehrungen treffen, um sicherzustellen, daß das System stabil bleibt. Die folgenden Richtlinien sollen zur Gewährleistung Ihrer Sicherheit dienen:
- Wenn diese Einheit die einzige im Gestell ist, sollte sie unten im Gestell angebracht werden.
  - Bei Anbringung dieser Einheit in einem zum Teil gefüllten Gestell ist das Gestell von unten nach oben zu laden, wobei das schwerste Bauteil unten im Gestell anzubringen ist.
  - Wird das Gestell mit Stabilisierungszubehör geliefert, sind zuerst die Stabilisatoren zu installieren, bevor Sie die Einheit im Gestell anbringen oder sie warten.
- Avvertenza** Per evitare infortuni fisici durante il montaggio o la manutenzione di questa unità in un supporto, occorre osservare speciali precauzioni per garantire che il sistema rimanga stabile. Le seguenti direttive vengono fornite per garantire la sicurezza personale:
- Questa unità deve venire montata sul fondo del supporto, se si tratta dell'unica unità da montare nel supporto.
  - Quando questa unità viene montata in un supporto parzialmente pieno, caricare il supporto dal basso all'alto, con il componente più pesante sistemato sul fondo del supporto.
  - Se il supporto è dotato di dispositivi stabilizzanti, installare tali dispositivi prima di montare o di procedere alla manutenzione dell'unità nel supporto.
- Advarsel** Unngå fysiske skader under montering eller reparasjonsarbeid på denne enheten når den befinner seg i et kabinett. Vær nøye med at systemet er stabilt. Følgende retningslinjer er gitt for å verne om sikkerheten:
- Denne enheten bør monteres nederst i kabinettet hvis dette er den eneste enheten i kabinettet.
  - Ved montering av denne enheten i et kabinett som er delvis fylt, skal kabinettet lastes fra bunnen og opp med den tyngste komponenten nederst i kabinettet.
  - Hvis kabinettet er utstyrt med stabiliseringsutstyr, skal stabilisatorene installeres før montering eller utføring av reparasjonsarbeid på enheten i kabinettet.
- Aviso** Para se prevenir contra danos corporais ao montar ou reparar esta unidade numa estante, deverá tomar precauções especiais para se certificar de que o sistema possui um suporte estável. As seguintes directrizes ajudá-lo-ão a efectuar o seu trabalho com segurança:
- Esta unidade deverá ser montada na parte inferior da estante, caso seja esta a única unidade a ser montada.
  - Ao montar esta unidade numa estante parcialmente ocupada, coloque os itens mais pesados na parte inferior da estante, arrumando-os de baixo para cima.
  - Se a estante possuir um dispositivo de estabilização, instale-o antes de montar ou reparar a unidade.
- ¡Advertencia!** Para evitar lesiones durante el montaje de este equipo sobre un bastidor, o posteriormente durante su mantenimiento, se debe poner mucho cuidado en que el sistema quede bien estable. Para garantizar su seguridad, proceda según las siguientes instrucciones:
- Colocar el equipo en la parte inferior del bastidor, cuando sea la única unidad en el mismo.
  - Cuando este equipo se vaya a instalar en un bastidor parcialmente ocupado, comenzar la instalación desde la parte inferior hacia la superior colocando el equipo más pesado en la parte inferior.
  - Si el bastidor dispone de dispositivos estabilizadores, instalar éstos antes de montar o proceder al mantenimiento del equipo instalado en el bastidor.

## ■ ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告

- Varning!** För att undvika kroppsskada när du installerar eller utför underhållsarbete på denna enhet på en ställning måste du vidta särskilda försiktighetsåtgärder för att försäkra dig om att systemet står stadigt. Följande riktlinjer ges för att trygga din säkerhet:
- Om denna enhet är den enda enheten på ställningen skall den installeras längst ned på ställningen.
  - Om denna enhet installeras på en delvis fylld ställning skall ställningen fyllas nedifrån och upp, med de tyngsta enheterna längst ned på ställningen.
  - Om ställningen är försedd med stabiliseringsdon skall dessa monteras fast innan enheten installeras eller underhålls på ställningen.

- Figyelem** A készülék rackbe történő beszerelése és karbantartása során bekövetkező sérülések elkerülése végett speciális óvintézkedésekkel meg kell őrizni a rendszer stabilitását. A személyes biztonsága érdekében tartsa be a következő szabályokat:
- Ha a rackben csak ez az egy készülék található, a rack aljába kell beszerelni.
  - Ha nincs teljesen tele az a rack, amelybe beszerelik a készüléket, alulról fölfelé haladva töltsse fel a racket úgy, hogy a legnehezebb készülék kerüljön a rack aljába.
  - Ha stabilizáló eszközök is tartoznak a rackhez, szerelje fel a stabilizátorokat, mielőtt beszerelné az egységet a rackbe, vagy karbantartást végezne rajta.

- Предупреждение** Во избежание травм при монтаже и обслуживании устройства в стойке следует принять особые меры предосторожности, чтобы убедиться в устойчивости оборудования. Для обеспечения безопасности работ необходимо соблюдать следующие правила.
- Если в стойке находится одно устройство, оно должно быть установлено в нижней части.
  - При монтаже устройств в частично заполненную стойку устанавливайте оборудование снизу вверх, размещая наиболее тяжелые устройства в нижней части.
  - Если стойка снабжена приспособлениями для стабилизации, их необходимо установить до начала монтажа или обслуживания оборудования.

- 警告** 为避免在机架中安装或维修该部件时使身体受伤，您必须采取特殊的预防措施确保系统固定。以下是确保安全的原则：
- 如果此部件是机架中唯一的部件，应将其安装在机架的底部。
  - 如果在部分装满的机架中安装此部件，请按从下往上的顺序安装各个部件，并且最重的组件应安装在机架的底部。
  - 如果机架配有固定装置，请先装好固定装置，然后再在机架中安装或维修部件。

- 警告** この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、システムが安定しているかどうかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。
- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
  - ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
  - ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

- 주의** 이 장치를 랙에 장착하거나 서비스할 때 신체 부상을 방지하려면, 시스템이 안정된 상태를 유지하도록 특별히 주의해야 합니다. 사용자의 안전을 위해 다음 지침 사항을 준수하십시오.
- 이 장치가 랙에 장착되는 유일한 것일 경우, 랙의 맨 아래 부분에 장착되어야 합니다.
  - 부분적으로 차 있는 랙에 이 장치를 장착할 경우, 가장 무거운 장치를 랙의 맨 아래 부분부터 차례로 장착하십시오.
  - 안정기가 랙과 함께 제공되는 경우, 이 안정기를 설치한 후 이 장치를 랙에 장착하거나 서비스하십시오.

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Aviso      | <p>Para evitar lesões corporais ao montar ou dar manutenção a esta unidade em um rack, é necessário tomar todas as precauções para garantir a estabilidade do sistema. As seguintes orientações são fornecidas para garantir a sua segurança:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Se esta for a única unidade, ela deverá ser montada na parte inferior do rack.</li> <li>• Ao montar esta unidade em um rack parcialmente preenchido, carregue-o de baixo para cima com o componente mais pesado em sua parte inferior.</li> <li>• Se o rack contiver dispositivos estabilizadores, instale-os antes de montar ou dar manutenção à unidade existente.</li> </ul>                                                                        |
| Advarsel   | <p>For at forhindre legemesbeskadigelse ved montering eller service af denne enhed i et rack, skal du sikre at systemet står stabilt. Følgende retningslinjer er også for din sikkerheds skyld:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Enheden skal monteres i bunden af dit rack, hvis det er den eneste enhed i racket.</li> <li>• Ved montering af denne enhed i et delvist fyldt rack, skal enhederne installeres fra bunden og opad med den tungeste enhed nederst.</li> <li>• Hvis racket leveres med stabiliseringsenheder, skal disse installeres for enheden monteres eller serviceres i racket.</li> </ul>                                                                                                                        |
| تحذير      | <p>لتجنب حدوث أي إصابات عند تركيب هذه الوحدة، يجب اتباع بعض الاحتياطات لضمان عمل النظام بشكل سليم. يتم ذكر الإرشادات التالية لضمان الأمان.</p> <p>يجب تركيب هذه الوحدة في الجزء السفلي من الدولاب المتضمن قضبان إذا كانت هذه الوحدة هي الوحدة الوحيدة في الدولاب الذي يحتوي على قضبان.</p> <p>عند تركيب هذه الوحدة في دولاب شبه ممتلئ، قم برفع الدولاب من الجزء السفلي لأعلى بحيث يكون الجزء الأثقل وزناً أسفل الدولاب.</p> <p>إذا كان الدولاب المتضمن قضباناً يحتوي على أجهزة حفظ التوازن، قم بتثبيت هذه الأجهزة قبل تركيب الوحدة في الدولاب.</p>                                                                                                                                                                                                |
| Upozorenje | <p>Kako ne bi došlo do tjelesnih ozljeda kod postavljanja ili servisiranja uređaja na polici, potrebno je poduzeti mjere predostrožnosti kako bi sustav uvijek bio stabilan. Sigurnost se može osigurati poštivanjem sljedećih smjernica:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Ovaj uređaj treba ugraditi na dno police, ukoliko je to jedini uređaj na polici.</li> <li>• Kod ugradnje uređaja u policu na kojoj se već nalaze drugi uređaji, policu treba opremiti počevši od dna, te tako da se na dno stave najteži dijelovi.</li> <li>• Ukoliko su na polici ugrađeni stabilizatori, njih montirajte prije ugradnje ili servisiranja uređaja na polici.</li> </ul>                                                                   |
| Upozornění | <p>Abyste předešli poranění osob při montáži nebo opravě zařízení v montážním rámu, musíte dodržovat zvláštní preventivní opatření pro zajištění udržení stability systému. Pro zajištění bezpečnosti obsluhy jsou určeny následující zásady:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Pokud je toto zařízení jedinou jednotkou v montážním rámu, musí být namontováno na nejnižší místo rámu.</li> <li>• Pokud je toto zařízení montováno do částečně obsazeného montážního rámu, obsazujte montážní rám ve směru zdola nahoru tak, aby byla nejtěžší součást nejnižší.</li> <li>• Pokud je montážní rám vybaven stabilizačními zařízeními, nainstalujte stabilizátory ještě před montáží nebo opravou zařízení v montážním rámu.</li> </ul> |

## ■ ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告

## Προειδοποίηση

Για να αποφύγετε τον τραυματισμό κατά την τοποθέτηση ή τη συντήρηση αυτής της συσκευής σε αρθρωτό σύστημα, πρέπει να λάβετε ειδικές προφυλάξεις για να διασφαλίσετε τη σταθερότητα του συστήματος. Οι παρακάτω οδηγίες παρέχονται για να εξασφαλίσουν την ασφάλειά σας:

- Αυτή η συσκευή πρέπει να τοποθετείται στο κάτω μέρος του αρθρωτού συστήματος αν είναι η μοναδική συσκευή σε αυτό.
- Όταν τοποθετείτε αυτήν τη συσκευή σε εν μέρει γεμάτο αρθρωτό σύστημα, τοποθετήστε συσκευές στο αρθρωτό σύστημα από κάτω προς τα επάνω, με τη βαρύτερη συσκευή στο κάτω μέρος του συστήματος.
- Εάν το αρθρωτό σύστημα διαθέτει διατάξεις σταθεροποίησης, τοποθετήστε τους σταθεροποιητές πριν τοποθετήσετε ή συντηρήσετε τη συσκευή στο αρθρωτό σύστημα.

## אזהרה

כדי למנוע פציעה בעת הרכבת יחידה זו במעמד או טיפול בה, עליך לנקוט אמצעי זהירות מיוחדים כדי להבטיח את יציבות המערכת. הקווים המנחים הבאים ניתנים על מנת להבטיח את ביטחונך:

- אם יחידה זו היא יחידה בודדת במעמד, יש להרכיב את היחידה בחלקו התחתון של המעמד.
- בעת הרכבת יחידה זו במעמד המלא בחלקו, טען את המעמד החל בחלק התחתון וכלפי מעלה כאשר הרכיב הכבד ביותר נמצא בחלקו התחתון של המעמד.
- אם המעמד מסופק עם התקני ייצוב, התקן את המייצבים לפני הרכבה היחידה במעמד או טיפול בה.

## Опomena

За да се не повредите кога го монтирате или го сервисирате уредот на полица, мора да бидете особено претпазливи за да ја обезбедите стабилноста на системот. Следите напатствија се дадени за да ја осигураат Вашата безбедност:

- Уредот треба да се монтира најдолу на полицата ако е единствен уред на полицата.
- Кога го монтирате уредот на делумно пополнета полица, полнете ја полицата од дното кон врвот со најтешката компонента на дното на полицата.
- Ако полицата има стабилизаторски делови, наместете ги стабилизаторите пред да го монтирате или сервисирате уредот на полицата.

**Ostrzeżenie** Aby zapobiec urazom podczas montażu lub serwisowania tego urządzenia w stojaku, należy zastosować szczególne środki ostrożności w celu zapewnienia stabilności układu. Poniżej przedstawiono wskazówki, których przestrzeganie zapewni bezpieczeństwo:

- Jeśli urządzenie to jest jedynym urządzeniem w stojaku, powinno być zamontowane na dole.
- W przypadku montażu urządzenia w częściowo zapełnionym stojaku należy instalować kolejne urządzenia od najniższego do najwyższego, przy czym element najcięższy powinien być zamontowany najniżej w stojaku.
- Jeśli stojak jest wyposażony w elementy stabilizujące, należy zamontować stabilizatory przed przystąpieniem do montażu lub serwisowania urządzeń w stojaku.

**Upozornenie** Aby ste predišli poraneniu osôb pri montáži alebo oprave zariadenia v montážnom ráme, musíte dodržiavať zvláštne preventívne opatrenia na zaistenie udržania stability systému. Na zaistenie bezpečnosti obsluhy sú určené nasledujúce zásady:

- Pokiaľ je toto zariadenie jedinou jednotkou v montážnom ráme, musí byť namontované na najnižšie miesto v ráme.
  - Pokiaľ je toto zariadenie montované do čiastočne obsadeného montážneho rámu, obsadzujte montážny rám v smere zdola nahor tak, aby bola najťažšia súčasť najnižšie.
  - Pokiaľ je montážny rám vybavený stabilizačnými zariadeniami, nainštalujte stabilizátory ešte pred montážou alebo opravou zariadenia v montážnom ráme.
-

## ■ ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告

**Figyelem** A készülék rackbe történő beszerelése és karbantartása során bekövetkező sérülések elkerülése végett speciális óvintézkedésekkel meg kell őrizni a rendszer stabilitását. A személyes biztonsága érdekében tartsa be a következő szabályokat:

- Ha a rackben csak ez az egy készülék található, a rack aljába kell beszerelni.
- Ha nincs teljesen tele az a rack, amelybe beszerelik a készüléket, alulról fölfelé haladva töltsse fel a racket úgy, hogy a legnehezebb készülék kerüljön a rack aljába.
- Ha stabilizáló eszközök is tartoznak a rackhez, szerelje fel a stabilizátorokat, mielőtt beszerelné az egységet a rackbe, vagy karbantartást végezne rajta.

**Предупреждение** Во избежание травм при монтаже и обслуживании устройства в стойке следует принять особые меры предосторожности, чтобы убедиться в устойчивости оборудования. Для обеспечения безопасности работ необходимо соблюдать следующие правила.

- Если в стойке находится одно устройство, оно должно быть установлено в нижней части.
- При монтаже устройств в частично заполненную стойку устанавливайте оборудование снизу вверх, размещая наиболее тяжелые устройства в нижней части.
- Если стойка снабжена приспособлениями для стабилизации, их необходимо установить до начала монтажа или обслуживания оборудования.

**警告** 为避免在机架中安装或维修该部件时使身体受伤，您必须采取特殊的预防措施确保系统固定。以下是确保安全的原则：

- 如果此部件是机架中唯一的部件，应将其安装在机架的底部。
- 如果在部分装满的机架中安装此部件，请按从下往上的顺序安装各个部件，并且最重的组件应安装在机架的底部。
- 如果机架配有固定装置，请先装好固定装置，然后再在机架中安装或维修部件。

**警告** この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、システムが安定しているかどうかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 주의         | <p>이 장치를 랙에 장착하거나 서비스할 때 신체 부상을 방지하려면, 시스템이 안정된 상태를 유지하도록 특별히 주의해야 합니다. 사용자의 안전을 위해 다음 지침 사항을 준수하십시오.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 이 장치가 랙에 장착되는 유일한 것일 경우, 랙의 맨 아래 부분에 장착되어야 합니다.</li> <li>• 부분적으로 차 있는 랙에 이 장치를 장착할 경우, 가장 무거운 장치를 랙의 맨 아래 부분부터 차례로 장착하십시오.</li> <li>• 안정기가 랙과 함께 제공되는 경우, 이 안정기를 설치한 후 이 장치를 랙에 장착하거나 서비스하십시오.</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| تحذير      | <p>لتجنب حدوث أي إصابات عند تركيب هذه الوحدة، يجب اتباع بعض الاحتياطات لضمان عمل النظام بشكل سليم. يتم ذكر الإرشادات التالية لضمان الأمان.</p> <p>يجب تركيب هذه الوحدة في الجزء السفلي من الدولاب المتضمن قضبان إذا كانت هذه الوحدة هي الوحدة الوحيدة في الدولاب الذي يحتوي على قضبان.</p> <p>عند تركيب هذه الوحدة في دولاب شبه ممتلئ، قم برفع الدولاب من الجزء السفلي لأعلى بحيث يكون الجزء الأثقل وزناً أسفل الدولاب.</p> <p>إذا كان الدولاب المتضمن قضباناً يحتوي على أجهزة حفظ التوازن، قم بتثبيت هذه الأجهزة قبل تركيب الوحدة في الدولاب.</p>                                                                                                                                                                                                |
| Upozorenje | <p>Kako ne bi došlo do tjelesnih ozljeda kod postavljanja ili servisiranja uređaja na polici, potrebno je poduzeti mjere predostrožnosti kako bi sustav uvijek bio stabilan. Sigurnost se može osigurati poštivanjem sljedećih smjernica:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Ovaj uređaj treba ugraditi na dno police, ukoliko je to jedini uređaj na polici.</li> <li>• Kod ugradnje uređaja u policu na kojoj se već nalaze drugi uređaji, policu treba opremiti počevši od dna, te tako da se na dno stave najteži dijelovi.</li> <li>• Ukoliko su na polici ugrađeni stabilizatori, njih montirajte prije ugradnje ili servisiranja uređaja na polici.</li> </ul>                                                                   |
| Upozornění | <p>Abyste předešli poranění osob při montáži nebo opravě zařízení v montážním rámu, musíte dodržovat zvláštní preventivní opatření pro zajištění udržení stability systému. Pro zajištění bezpečnosti obsluhy jsou určeny následující zásady:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Pokud je toto zařízení jedinou jednotkou v montážním rámu, musí být namontováno na nejnižší místo rámu.</li> <li>• Pokud je toto zařízení montováno do částečně obsazeného montážního rámu, obsazujte montážní rám ve směru zdola nahoru tak, aby byla nejtěžší součást nejnižší.</li> <li>• Pokud je montážní rám vybaven stabilizačními zařízeními, nainstalujte stabilizátory ještě před montáží nebo opravou zařízení v montážním rámu.</li> </ul> |

## ■ ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーンに関する警告

- Προειδοποίηση Για να αποφύγετε τον τραυματισμό κατά την τοποθέτηση ή τη συντήρηση αυτής της συσκευής σε αρθρωτό σύστημα, πρέπει να λάβετε ειδικές προφυλάξεις για να διασφαλίσετε τη σταθερότητα του συστήματος. Οι παρακάτω οδηγίες παρέχονται για να εξασφαλίσουν την ασφάλειά σας:
- Αυτή η συσκευή πρέπει να τοποθετείται στο κάτω μέρος του αρθρωτού συστήματος αν είναι η μοναδική συσκευή σε αυτό.
  - Όταν τοποθετείτε αυτήν τη συσκευή σε εν μέρει γεμάτο αρθρωτό σύστημα, τοποθετήστε συσκευές στο αρθρωτό σύστημα από κάτω προς τα επάνω, με τη βαρύτερη συσκευή στο κάτω μέρος του συστήματος.
  - Εάν το αρθρωτό σύστημα διαθέτει διατάξεις σταθεροποίησης, τοποθετήστε τους σταθεροποιητές πριν τοποθετήσετε ή συντηρήσετε τη συσκευή στο αρθρωτό σύστημα.
- אזהרה כדי למנוע פציעה בעת הרכבת יחידה זו במעמד או טיפול בה, עליך לנקוט אמצעי זהירות מיוחדים כדי להבטיח את יציבות המערכת. הקווים המנחים הבאים ניתנים על מנת להבטיח את ביטחונך:
- אם יחידה זו היא יחידה בודדת במעמד, יש להרכיב את היחידה בחלקו התחתון של המעמד.
  - בעת הרכבת יחידה זו במעמד המלא בחלקו, טען את המעמד החל בחלק התחתון וכלפי מעלה כאשר הרכיב הכבד ביותר נמצא בחלקו התחתון של המעמד.
  - אם המעמד מסופק עם התקני ייצוב, התקן את המייצבים לפני הרכבה היחידה במעמד או טיפול בה.
- Opomena За да се не повредите кога го монтирате или го сервисирате уредот на полица, мора да бидете особено претпазливи за да ја обезбедите стабилноста на системот. Следите напатствија се дадени за да ја осигураат Вашата безбедност:
- Уредот треба да се монтира најдолу на полицата ако е единствен уред на полицата.
  - Кога го монтирате уредот на делумно пополнета полица, полнете ја полицата од дното кон врвот со најтешката компонента на дното на полицата.
  - Ако полицата има стабилизаторски делови, наместете ги стабилизаторите пред да го монтирате или сервисирате уредот на полицата.

- Ostrzeżenie** Aby zapobiec urazom podczas montażu lub serwisowania tego urządzenia w stojaku, należy zastosować szczególne środki ostrożności w celu zapewnienia stabilności układu. Poniżej przedstawiono wskazówki, których przestrzeganie zapewni bezpieczeństwo:
- Jeśli urządzenie to jest jedynym urządzeniem w stojaku, powinno być zamontowane na dole.
  - W przypadku montażu urządzenia w częściowo zapełnionym stojaku należy instalować kolejne urządzenia od najniższego do najwyższego, przy czym element najcięższy powinien być zamontowany najniżej w stojaku.
  - Jeśli stojak jest wyposażony w elementy stabilizujące, należy zamontować stabilizatory przed przystąpieniem do montażu lub serwisowania urządzeń w stojaku.
- Upozornenie** Aby ste predišli poraneniu osôb pri montáži alebo oprave zariadenia v montážnom ráme, musíte dodržiavať zvláštné preventívne opatrenia na zaistenie udržania stability systému. Na zaistenie bezpečnosti obsluhy sú určené nasledujúce zásady:
- Pokiaľ je toto zariadenie jedinou jednotkou v montážnom ráme, musí byť namontované na najnižšie miesto v ráme.
  - Pokiaľ je toto zariadenie montované do čiastočne obsadeného montážneho rámu, obsadzujte montážny rám v smere zdola nahor tak, aby bola najťažšia súčasť najnižšie.
  - Pokiaľ je montážny rám vybavený stabilizačnými zariadeniami, nainštalujte stabilizátory ešte pred montážou alebo opravou zariadenia v montážnom ráme.

## 装置の設置についての警告



### Warning

Only trained and qualified personnel should be allowed to install, replace, or service this equipment. Statement 1030

### Waarschuwing

Deze apparatuur mag alleen worden geïnstalleerd, vervangen of hersteld door bevoegd geschoold personeel.

### Varoitus

Tämän laitteen saa asentaa, vaihtaa tai huoltaa ainoastaan koulutettu ja laitteen tunteva henkilökunta.

### Attention

Il est vivement recommandé de confier l'installation, le remplacement et la maintenance de ces équipements à des personnels qualifiés et expérimentés.

### Warnung

Das Installieren, Ersetzen oder Bedienen dieser Ausrüstung sollte nur geschultem, qualifiziertem Personal gestattet werden.

## ■ 装置の設置についての警告

|                |                                                                                                                                                |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Avvertenza     | <b>Questo apparato può essere installato, sostituito o mantenuto unicamente da un personale competente.</b>                                    |
| Advarsel       | <b>Bare opplært og kvalifisert personell skal foreta installasjoner, utskiftninger eller service på dette utstyret.</b>                        |
| Aviso          | <b>Apenas pessoal treinado e qualificado deve ser autorizado a instalar, substituir ou fazer a revisão deste equipamento.</b>                  |
| ¡Advertencia!  | <b>Solamente el personal calificado debe instalar, reemplazar o utilizar este equipo.</b>                                                      |
| Varning!       | <b>Endast utbildad och kvalificerad personal bör få tillåtelse att installera, byta ut eller reparera denna utrustning.</b>                    |
| Figyelem       | <b>A berendezést csak szakképzett személyek helyezhetik üzembe, cserélhetik és tarthatják karban.</b>                                          |
| Предупреждение | Установку, замену и обслуживание этого оборудования может осуществлять только специально обученный квалифицированный персонал.                 |
| 警告             | 只有经过培训且具有资格的人员才能进行此设备的安装、更换和维修。                                                                                                                |
| 警告             | この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた対応の資格のある人が行ってください。                                                                                                        |
| 주의             | 교육을 받고 자격을 갖춘 사람만 이 장비를 설치, 교체, 또는 서비스를 수행해야 합니다.                                                                                              |
| Aviso          | <b>Somente uma equipe treinada e qualificada tem permissão para instalar, substituir ou dar manutenção a este equipamento.</b>                 |
| Advarsel       | <b>Kun uddannede personer må installere, udskifte komponenter i eller servicere dette udstyr.</b>                                              |
| تحذير          | يسمح للفنيين المتخصصين فقط بتركيب المعدة أو استبدالها أو إجراء الصيانة عليها.                                                                  |
| Upozorenje     | <b>Uređaj smije ugrađivati, mijenjati i servisirati samo za to obučeno i osposobljeno servisno osoblje.</b>                                    |
| Upozornění     | <b>Instalaci, výměnu nebo opravu tohoto zařízení smějí provádět pouze proškolené a kvalifikované osoby.</b>                                    |
| Προειδοποίηση  | Η τοποθέτηση, η αντικατάσταση και η συντήρηση του εξοπλισμού επιτρέπεται να γίνονται μόνο από καταρτισμένο προσωπικό με τα κατάλληλα προσόντα. |
| התראה          |                                                                                                                                                |

|                |                                                                                                                                                |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Орорена        | Местењето, заменувањето и сервисирањето на оваа опрема треба да му биде дозволено само на обучен и квалификуван персонал.                      |
| Ostrzeżenie    | <b>Do instalacji, wymiany i serwisowania tych urządzeń mogą być dopuszczone wyłącznie osoby wykwalifikowane i przeszkolone.</b>                |
| Upozornenie    | <b>Inštaláciu, výmenu alebo opravu tohto zariadenia smú vykonávať iba vyškolené a kvalifikované osoby.</b>                                     |
| <hr/>          |                                                                                                                                                |
| Figyelem       | <b>A berendezést csak szakképzett személyek helyezhetik üzembe, cserélhetik és tarthatják karban.</b>                                          |
| Предупреждение | Установку, замену и обслуживание этого оборудования может осуществлять только специально обученный квалифицированный персонал.                 |
| 警告             | 只有经过培训且具有资格的人员才能进行此设备的安装、更换和维修。                                                                                                                |
| 警告             | この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。                                                                                                        |
| 주의             | 교육을 받고 자격을 갖춘 사람만 이 장비를 설치, 교체, 또는 서비스를 수행해야 합니다.                                                                                              |
| تحذير          | يسمح للفنيين المتخصصين فقط بتركيب المعدة أو استبدالها أو إجراء الصيانة عليها.                                                                  |
| Upozorenje     | <b>Uređaj smije ugrađivati, mijenjati i servisirati samo za to obučeno i osposobljeno servisno osoblje.</b>                                    |
| Upozornění     | <b>Instalaci, výměnu nebo opravu tohoto zařízení smějí provádět pouze proškolené a kvalifikované osoby.</b>                                    |
| Προειδοποίηση  | Η τοποθέτηση, η αντικατάσταση και η συντήρηση του εξοπλισμού επιτρέπεται να γίνονται μόνο από καταρτισμένο προσωπικό με τα κατάλληλα προσόντα. |
| אזהרה          |                                                                                                                                                |
| Орорена        | Местењето, заменувањето и сервисирањето на оваа опрема треба да му биде дозволено само на обучен и квалификуван персонал.                      |

## ■ バッテリーの取り扱い

- Ostrzeżenie** Do instalacji, wymiany i serwisowania tych urządzeń mogą być dopuszczone wyłącznie osoby wykwalifikowane i przeszkolone.
- Upozornenie** Inštaláciu, výmenu alebo opravu tohto zariadenia smú vykonávať iba vyškolené a kvalifikované osoby.

## バッテリーの取り扱い



### Warning

There is the danger of explosion if the battery is replaced incorrectly. Replace the battery only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. Statement 1015

### Waarschuwing

Er is ontploffingsgevaar als de batterij verkeerd vervangen wordt. Vervang de batterij slechts met hetzelfde of een equivalent type dat door de fabrikant aanbevolen is. Gebruikte batterijen dienen overeenkomstig fabrieksvoorschriften weggegooid te worden.

### Varoitus

Räjähdyksen vaara, jos akku on vaihdettu väärään akkuun. Käytä vaihtamiseen ainoastaan samantai vastaavantyyppistä akkua, joka on valmistajan suosittelema. Hävitä käytetyt akut valmistajan ohjeiden mukaan.

### Attention

Danger d'explosion si la pile n'est pas remplacée correctement. Ne la remplacer que par une pile de type semblable ou équivalent, recommandée par le fabricant. Jeter les piles usagées conformément aux instructions du fabricant.

### Warnung

Bei Einsetzen einer falschen Batterie besteht Explosionsgefahr. Ersetzen Sie die Batterie nur durch den gleichen oder vom Hersteller empfohlenen Batterietyp. Entsorgen Sie die benutzten Batterien nach den Anweisungen des Herstellers.

### Avvertenza

Pericolo di esplosione se la batteria non è installata correttamente. Sostituire solo con una di tipo uguale o equivalente, consigliata dal produttore. Eliminare le batterie usate secondo le istruzioni del produttore.

### Advarsel

Det kan være fare for eksplosjon hvis batteriet skiftes på feil måte. Skift kun med samme eller tilsvarende type som er anbefalt av produsenten. Kasser brukte batterier i henhold til produsentens instruksjoner.

### Aviso

Existe perigo de explosão se a bateria for substituída incorrectamente. Substitua a bateria por uma bateria igual ou de um tipo equivalente recomendado pelo fabricante. Destrua as baterias usadas conforme as instruções do fabricante.

### ¡Advertencia!

Existe peligro de explosión si la batería se reemplaza de manera incorrecta. Reemplazar la batería exclusivamente con el mismo tipo o el equivalente recomendado por el fabricante. Desechar las baterías gastadas según las instrucciones del fabricante.

**Varning!** Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Ersätt endast batteriet med samma batterityp som rekommenderas av tillverkaren eller motsvarande. Följ tillverkarens anvisningar vid kassering av använda batterier.

**Figyelem** Robbanásveszélyt idézhet elő, ha helytelenül cserélik ki az akkumulátort. Csak a gyártó által javasolttal megegyező vagy azzal egyenértékű típusúra cserélje ki az akkumulátort! A használt akkumulátorok kidobásakor tartsa be a gyártó előírásait!

**Предупреждение** При неправильной замене батареи возможен взрыв. Для замены следует использовать батарею того же или аналогичного типа, рекомендованного изготовителем. Утилизацию батареи необходимо производить в соответствии с указаниями изготовителя.

**警告** 電池更換不當會有爆炸危險。請只用同類電池或製造商推薦的功能相當的電池更換原有電池。請按製造商的說明處理廢舊電池。

**警告** 不適切なバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。製造元が推奨するものと同じまたは同等のバッテリーだけを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元が指示する方法に従って処分してください。

**警告** 電池替換錯誤可能會發生爆炸。僅限以製造商建議的同樣或同款電池替換，並遵照製造商的指示處理使用過的電池。

**Figyelem** Robbanásveszélyt idézhet elő, ha helytelenül cserélik ki az akkumulátort. Csak a gyártó által javasolttal megegyező vagy azzal egyenértékű típusúra cserélje ki az akkumulátort! A használt akkumulátorok kidobásakor tartsa be a gyártó előírásait!

**Предупреждение** При неправильной замене батареи возможен взрыв. Для замены следует использовать батарею того же или аналогичного типа, рекомендованного изготовителем. Утилизацию батареи необходимо производить в соответствии с указаниями изготовителя.

**警告** 電池更換不當會有爆炸危險。請只用同類電池或製造商推薦的功能相當的電池更換原有電池。請按製造商的說明處理廢舊電池。

**警告** 不適切なバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。製造元が推奨するものと同じまたは同等のバッテリーだけを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元が指示する方法に従って処分してください。

**警告** 電池替換錯誤可能會發生爆炸。僅限以製造商建議的同樣或同款電池替換，並遵照製造商的指示處理使用過的電池。

# 製品の廃棄処分



Warning

**Ultimate disposal of this product should be handled according to all national laws and regulations.**  
Statement 1040

Waarschuwing

**Het uiteindelijke wegruimen van dit product dient te geschieden in overeenstemming met alle nationale wetten en reglementen.**

Varoitus

**Tämä tuote on hävitettävä kansallisten lakien ja määräysten mukaisesti.**

Attention

**La mise au rebut ou le recyclage de ce produit sont généralement soumis à des lois et/ou directives de respect de l'environnement. Renseignez-vous auprès de l'organisme compétent.**

Warnung

**Die Entsorgung dieses Produkts sollte gemäß allen Bestimmungen und Gesetzen des Landes erfolgen.**

Avvertenza

**Lo smaltimento di questo prodotto deve essere eseguito secondo le leggi e regolazioni locali.**

Advarsel

**Endelig kassering av dette produktet skal være i henhold til alle relevante nasjonale lover og bestemmelser.**

Aviso

**Deitar fora este produto em conformidade com todas as leis e regulamentos nacionais.**

¡Advertencia!

**Al deshacerse por completo de este producto debe seguir todas las leyes y reglamentos nacionales.**

Varning!

**Vid deponering hanteras produkten enligt gällande lagar och bestämmelser.**

Figyelem

**A készülék végső elhelyezéséről az adott országban érvényes törvények és előírások szerint kell intézkedni.**

Предупреждение

Окончательная установка данного изделия должна выполняться в соответствии со всеми региональными и местными правилами и нормами.

警告

本产品的废弃处理应根据所有国家的法律和规章进行。

警告

この製品を廃棄処分する際は、各国の法律および規制に従って取り扱ってください。

주의

시스템을 전원에 연결하기 전에 설치 지침을 읽으십시오.

Aviso

**O descarte definitivo deste produto deve estar de acordo com todas as leis e regulamentações nacionais.**

Advarsel

**Endelig bortskaffelse af dette produkt skal ske i henhold til gældende love og regler.**

|                |                                                                                                                                  |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| تحذير          | عند التخلص من المنتج يجب اتباع القوانين والتشريعات المحلية.                                                                      |
| Upozorenje     | Zbrinjavanje ovoga proizvoda u otpad treba provesti u skladu s važećim zakonima i odredbama.                                     |
| Upozornění     | Upozornění: Likvidace tohoto výrobku musí být provedena podle platných zákonů a předpisů.                                        |
| Προειδοποίηση  | Η τελική απόρριψη αυτού του προϊόντος πρέπει να γίνεται σύμφωνα με όλους τους εθνικούς νόμους και κανονισμούς.                   |
| אזהרה          | סילוק סופי של מוצר זה חייב להיות בהתאם להנחיות ולחוקי המדינה.                                                                    |
| Opomena        | Krajnoto фрлање на овој производ треба да се изврши во согласност со сите национални закони и прописи.                           |
| Ostrzeżenie    | Ostateczna likwidacja tego urządzenia po jego wycofaniu z eksploatacji powinna odbywać się zgodnie z przepisami krajowymi.       |
| Upozornenie    | Upozornenie Likvidácia tohto výrobku musí byť vykonaná podľa platných zákonov a predpisov.                                       |
| Opozorilo      | Uničenje izdelka, ki ni več uporaben, mora potekati po državnih zakonih in predpisih.                                            |
| 警告             | 本產品的最終處理必須遵照國家/地區的所有法律與法規。                                                                                                       |
| <hr/>          |                                                                                                                                  |
| Figyelem       | A készülék végső elhelyezéséről az adott országban érvényes törvények és előírások szerint kell intézkedni.                      |
| Предупреждение | Окончательная установка данного изделия должна выполняться в соответствии со всеми региональными и местными правилами и нормами. |
| 警告             | 本产品的废弃处理应根据所有国家的法律和规章进行。                                                                                                         |
| 警告             | この製品を廃棄処分する際は、各国の法律および規制に従って取り扱ってください。                                                                                           |
| 주의             | 해당 국가의 관련 법규 및 규정에 따라 이 장치를 폐기해야 합니다.                                                                                            |

## ■ 電源ケーブルおよび AC アダプタ

تحذير عند التخلص من المنتج يجب اتباع القوانين والتشريعات المحلية.

**Upozorenje** Zbrinjavanje ovoga proizvoda u otpad treba provesti u skladu s važećim zakonima i odredbama.

**Upozornění** **Upozornění: Likvidace tohoto výrobku musí být provedena podle platných zákonů a předpisů.**

Προειδοποίηση Η τελική απόρριψη αυτού του προϊόντος πρέπει να γίνεται σύμφωνα με όλους τους εθνικούς νόμους και κανονισμούς.

אזהרה סילוק סופי של מוצר זה חייב להיות בהתאם להנחיות ולחוקי המדינה.

Opomena Крајното фрлање на овој производ треба да се изврши во согласност со сите национални закони и прописи.

**Ostrzeżenie** **Ostateczna likwidacja tego urządzenia po jego wycofaniu z eksploatacji powinna odbywać się zgodnie z przepisami krajowymi.**

**Upozornenie** **Upozornenie Likvidácia tohto výrobku musí byť vykonaná podľa platných zákonov a predpisov.**

**Opozorilo** **Uničenje izdelka, ki ni več uporaben, mora potekati po državnih zakonih in predpisih.**

警告 本產品的最終處理必須遵照國家/地區的所有法律與法規。

## 電源ケーブルおよび AC アダプタ

ステートメント 371



## 付録 **B**

### 規制情報

---

この付録では、Cisco 3350 Mobility Services Engine の規制に関する情報を提供します。

## Cisco 3350 シリーズ Mobility Services Engine の FCC ステートメント

この機器は、FCC 規定の Part 15 に基づくクラス A デジタル デバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

## Declaration of Conformity with Regard to the EU Directive 1999/5/EC (R&TTE Directive)

This declaration is only valid for configurations (combinations of software, firmware and hardware) provided and/or supported by Cisco Systems. The use software or firmware not supported/provided by Cisco Systems may result that the equipment is no longer compliant with the regulatory requirements.

## ステートメント 191 : VCCI 準拠クラス A 警告 (日本)



Warning

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio disturbance may arise. When such trouble occurs, the user may be required to take corrective actions.

警告